

スポーツを
たのしく！
かっきあふれる！
まちづくりに！
つなげよう！



第2期

高松市スポーツ推進計画

2024▶▶2031

高松市民スポーツ憲章

「健康なからだと心にうるおいのあるまちづくり」をめざすわたくしたちは
だれでも いつでも どこでも できるスポーツ活動をとoshi活力ある都市
を築くためここに高松市民スポーツ憲章を制定する

- 1 スポーツに親しみ たくましいからだと心を育てよう
- 1 スポーツを楽しみ 世代を越えて友情の輪を広げよう
- 1 スポーツを愛し 正しいマナーと思いやりの気持ちを養おう
- 1 スポーツで競い きびしさを学び 明日の世界にはばたこう

— 昭和62年3月31日 高松市制定 —

はじめに



スポーツは、身体を動かすという人間の根源的な欲求に応えるとともに、爽快感などの精神的な充足や楽しさ、喜びをもたらしてくれます。また、青少年の健全な育成や、成人のストレスの解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進にも有効であり、人々が生涯に渡って、様々な目的や方法でスポーツに参加し、自分らしいスポーツライフを実現していくことは、豊かで充実した人生を送るために大きな意味があるものと存じております。

さらに、スポーツを通じた人々の交流は、今日、希薄化しつつある地域での人間関係の醸成にも、大きな役割を果たしていくことが期待されております。

このことから、「地域コミュニティを軸とした協働によるまちづくり」を推進している本市としましても、スポーツ活動は、地域の活性化を図っていく上で、必要不可欠なものと考えており、本市のスポーツ施策を総合的・計画的に推進するため、この度、「第2期高松市スポーツ推進計画」を策定しました。

計画の策定に当たっては、学識経験者、スポーツ関係団体代表者、公募市民で構成する「高松市スポーツ推進審議会」において、計画に盛り込むべき基本方針やスポーツイベントの充実、地域密着型トップスポーツチーム等との連携、スポーツによる健康増進、スポーツ施設の管理運営など、本市の現状や社会状況の変化を踏まえた具体的な施策について、様々な御提言をいただきました。

今後、本計画の実現に向けても、市民の皆様はもとより、スポーツ関係団体・大学・民間企業等、多くの皆様と協働し、スポーツの推進に全力で取り組んでまいりますので、どうか、格別の御理解、御協力と積極的な御参画をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重な御意見、御提案をいただきました高松市スポーツ推進審議会委員の皆様を始め、スポーツに関する意識調査やパブリックコメントに御協力をいただきました市民の方々に、心から感謝申し上げます。

令和6年3月

高松市長 大西 秀人

目 次

第1章 計画の基本的な考え方

1 策定の趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画期間	3
4 スポーツの定義	3
5 SDG s の 取 組	3

第2章 スポーツ推進の基本方針

1 基本方針	4
2 基本目標	5
3 施策体系	6

第3章 基本施策の展開

基本方針1 スポーツを『つくる / はぐくむ』	7
(1) 誰もがスポーツに参加できる機会の創出	9
(2) スポーツを「ささえる」体制の支援	11
(3) スポーツによる健康増進	12
基本方針2 スポーツで『あつまり、ともに、つながる』	14
(1) スポーツを通じた共生社会の実現	16
(2) スポーツによる地方創生、まちづくり	17
(3) 各種スポーツ団体等との連携強化	19
基本方針3 スポーツに『誰もがアクセスできる』	20
(1) 地域のスポーツ環境の構築	22

第4章 計画の推進

1 計画の推進	23
---------------	----

参考資料

第2期高松市スポーツ推進計画策定経過	24
高松市スポーツ推進審議会委員名簿	25
第2期高松市スポーツ推進計画に対する教育委員会の意見（依頼）…	26
第2期高松市スポーツ推進計画に対する教育委員会の意見（回答）…	26
高松市民のスポーツに関する意識調査結果	27
高松市のスポーツ施設一覧	63

第1章 計画の基本的な考え方

1 策定の趣旨

本市では、昭和62年3月に制定した「高松市民スポーツ憲章」の理念に基づき、「21世紀におけるスポーツ振興マスタープラン（平成13年度～平成22年度）」や、「高松市スポーツ振興基本計画（平成22年度～平成27年度）」、「高松市スポーツ推進計画（平成28年度～令和5年度）」を策定し、スポーツ情報やスポーツイベント等の充実、パラスポーツの推進、スポーツ団体の活動支援、スポーツ施設の整備・充実など、各種スポーツ施策を推進してきました。

この間、市民のライフスタイルの変化や少子高齢化、市民との協働の推進、DXの普及など、本市を取り巻く環境が変化する中で、健康づくりや生きがいづくりなど、スポーツの心身両面にわたる効果が期待され、近年では、スポーツの楽しさや喜びなど、「スポーツそのものが有する価値」やスポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現など、「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」にも注目が集まっています。

特に、令和3年に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）による地域住民等のスポーツへの関心の高まりを地方創生・まちづくりに活かし、将来にわたり継続・定着させるとともに、スポーツを契機とした共生社会の実現など、東京2020大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する取組が重要となりました。

このような現状やこれまでの本市の取り組み状況を踏まえて、今後のスポーツ推進は、スポーツが生涯を通じて生活の一部となることで人生や社会が豊かになるという「Sports in Life」の理念を実現するために、スポーツの多面的な役割を改めて明確にした上で、スポーツによるコミュニティの醸成や、多様化、複雑化する地域社会の変化に対応しつつ、市民のニーズに即した効率的・効果的な施策の展開が求められています。

このようなことから、本市のスポーツ施策を総合的・計画的に推進するため、これまでのスポーツ施策を継承しつつ、新たに令和6年度から令和13年度における「第2期高松市スポーツ推進計画」を策定するものです。

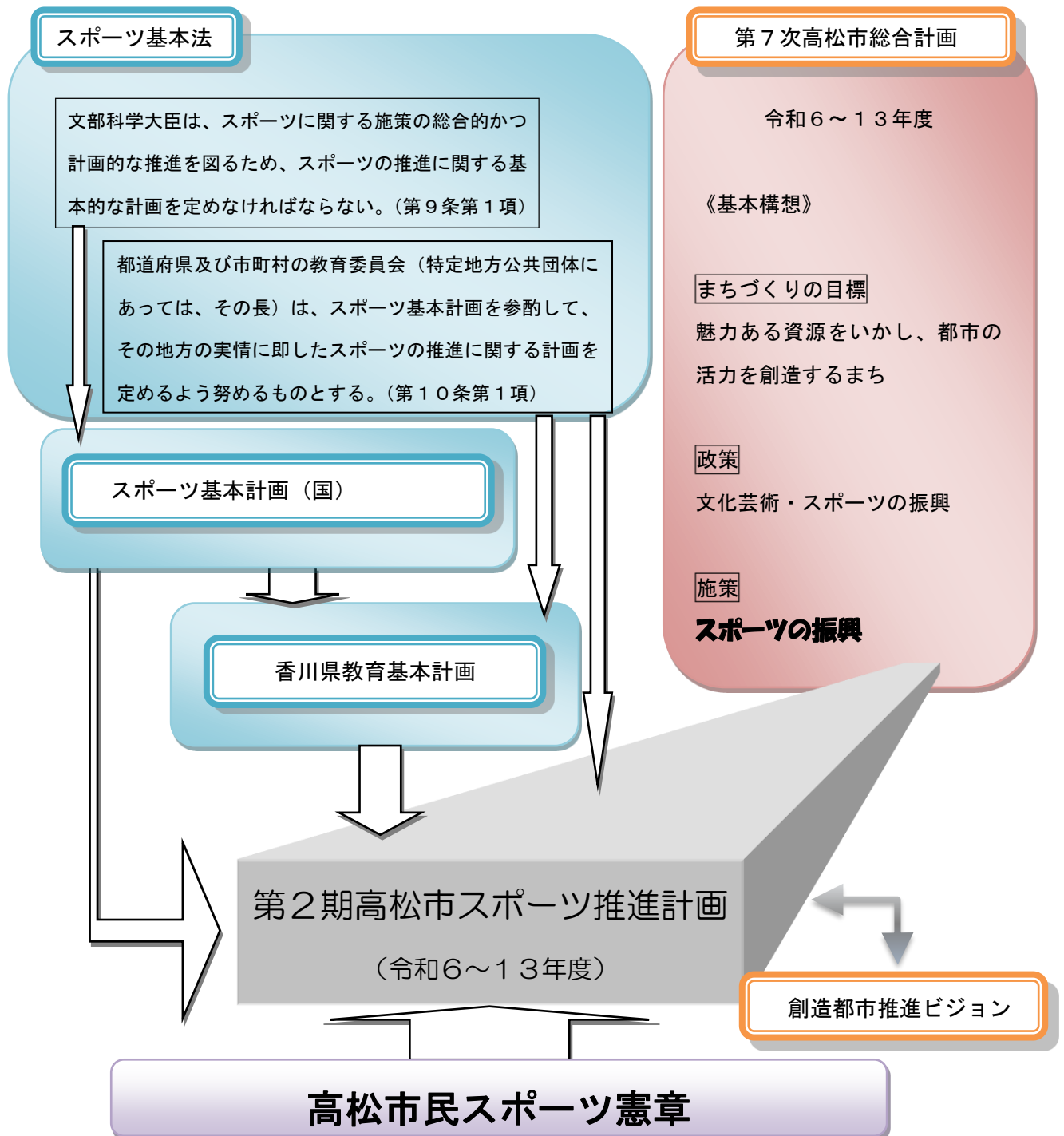


2 計画の位置付け

本計画は、平成23年に施行された「スポーツ基本法」第10条第1項の規定に基づく、本市のスポーツの推進に関する計画であり、国の「第3期スポーツ基本計画」、香川県の「香川県教育基本計画」を参考に、高松市民スポーツ憲章の理念に基づき、本市の現状に即して策定したものです。

計画の策定に当たっては、高松市スポーツ推進審議会の答申を踏まえています。

また、本計画は、第7次高松市総合計画に掲げる施策「スポーツの振興」を実現するための分野別計画として位置付けるものです。



3 計画期間

計画期間は、令和6年度を初年度とし、第7次高松市総合計画と同年限の令和13年度までの8年間とします。

ただし、計画を推進する過程において、社会・経済情勢など環境の変化やスポーツ・レクリエーションを取り巻く新たな課題の発現等により、新たな施策の展開や見直しが必要となった場合には、中間年での見直しを検討するなど適宜、柔軟に対応します。

4 スポーツの定義

スポーツ基本法では、「スポーツ」は、以下のように定義されています。

心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動をいう。

本計画において「スポーツ」とは、目的を持って、活動可能な範囲で体を動かすことを意味し、勝敗を競う競技性の高い運動だけでなく、散歩やジョギング、軽い体操、レクリエーション活動など、健康増進のための軽度の運動、身体を使った運動をすべて含めた広範囲の活動を定義とします。

※みるスポーツ、ささえるスポーツの重要性もいわれています。

5 SDGsの取組

本計画の理念である「高松市民スポーツ憲章」は、2015年9月に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の基本理念である「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現とも合致しています。



第2章 スポーツ推進の基本方針

1 基本方針

第7次高松市総合計画に掲げる施策「スポーツの振興」を推進するため、3つの基本方針を定めるとともに、これに基づく基本施策を展開していきます。

スポーツの振興 	1 スポーツを 『つくる／はぐくむ』	みんなでスポーツを楽しむための機会をつくり、スポーツを通して、生涯にわたり心身ともに健康で生活できる体力をはぐくみます。
	2 スポーツで 『あつまり、ともに、つながる』	年齢・障がいの有無などに関係なく、「あつまり」、「ともに」スポーツを楽しみ、人々が「つながる」まちづくりを目指します。
	3 スポーツに 『誰もがアクセスできる』	地域住民が気軽にスポーツに参加できる、誰もがアクセスしやすい「場づくり」を提供し、地域からスポーツを盛り上げます。

2 基本目標

国のスポーツ基本計画では、「成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%になること」などを目指しています。

本市の令和5年度における、成人の週1回以上のスポーツ実施率は51.4%です。

本市では、令和3年に開催された東京2020大会を経て、スポーツに対する関心や健康の保持増進への意識が高まっていることなどを踏まえ、令和13年度における成人の週1回以上のスポーツ実施率を70%にすることを基本目標とします。

基本目標

成人（18歳以上）の週1回以上のスポーツ実施率

令和5年度（2023）

51.4%



令和13年度（2031）

70.0%

本市におけるこれまでの成人（20歳以上）の週1回以上のスポーツ実施率の推移

平成20年度	平成27年度	令和2年度
29.7%	53.1%	52.2%

3 施策体系

基本方針	基本施策
1 スポーツを『つくる／はぐくむ』 みんなでスポーツを楽しむための機会をつくり、スポーツを通して、生涯にわたり心身ともに健康で生活できる体力をはぐくみます。	(1) 誰もがスポーツに参加できる機会の創出
	(2) スポーツを「ささえる」体制の支援
	(3) スポーツによる健康増進
2 スポーツで『あつまり、ともに、つながる』 年齢・障がいの有無などに関係なく、「あつまり」「ともに」スポーツを楽しみ、人々が「つながる」まちづくりを目指します。	(1) スポーツを通じた共生社会の実現
	(2) スポーツによる地方創生、まちづくり
	(3) 各種スポーツ団体等との連携強化
3 スポーツに『誰もがアクセスできる』 地域住民が気軽にスポーツに参加できる、誰もがアクセスしやすい「場づくり」を提供し、地域からスポーツを盛り上げます。	(1) 地域のスポーツ環境の構築

第3章 基本施策の展開

基本方針1 スポーツを『つくる／はぐくむ』

～みんなでスポーツを楽しむための機会をつくり、スポーツを通して、生涯にわたり心身ともに健康で生活できる体力をはぐくみます。～

現状・課題及び今後の方針

市民がスポーツに安心して取り組み、生涯にわたって継続していくためには、「スポーツを支える人材」や効果的な情報発信、多様な主体がスポーツに参加できる機会の創出が重要です。

本市では、スポーツ実施率の向上を目指し、これまで、スポーツの指導者の確保・資質向上や、広報高松やホームページでの情報発信、各種スポーツ団体等と連携したスポーツの情報提供をしてきました。また、スポーツイベントでは、令和元年度より市民参加型のイベントとして「高松スポーツ・健康感謝祭」を開催しているほか、「高松スポーツカーニバル」や「トリムの祭典」など、各種イベントを開催してきました。

令和5年度高松市民のスポーツに関する意識調査の結果では、「週1回以上のスポーツ実施率」を年代別にみると、10代を除くすべての年代が目標値である実施率70%に届かず、20代から40代の「働く世代・子育て世代」の実施割合が特に低い傾向にありました。この年代の未実施理由では、「忙しい」と回答した人の割合が最も高く、60代以降の年代では「年をとったから」と回答した人の割合が最も高い結果となりました。これらのことから、各年代に応じたスポーツ実施率向上に向けた取組が必要となります。

また、スポーツを行った理由として「健康・体力づくり」が最も高い結果となり、心身の健康の保持増進のためにスポーツを実施する市民が多いことから、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの実施や、既存イベントを見直すことで、健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目指します。

国の第3期スポーツ基本計画においても、「社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、個々の状況に応じた最適な手法・ルールを考えて創り出す。」という新たな視点が追加されています。この視点に沿って、本市の基本目標である「成人の週1回以上のスポーツ実施率70%」の達成に向け、イベント・教室などの情報が欲しい時に入手できるよう、各年代のニーズに応じた情報発信を行い、スポーツを身近に感じる機会の創出を図り、市民が年齢や身体の状態にかかわらず、スポーツに親しむことができる環境を創出します。

図1 年代別週1回以上のスポーツ実施率（令和5年度市民意識調査の結果）

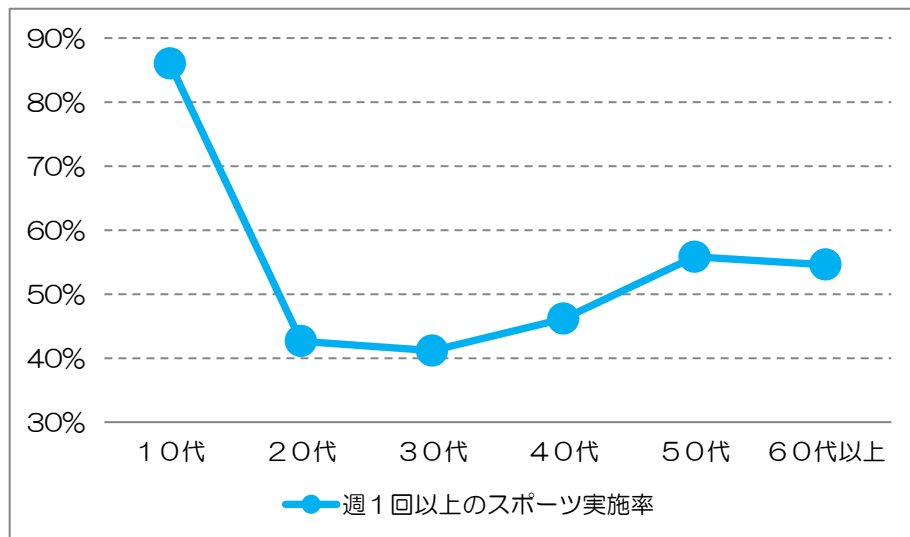


図2 年代別スポーツの未実施理由（令和5年度市民意識調査の結果）

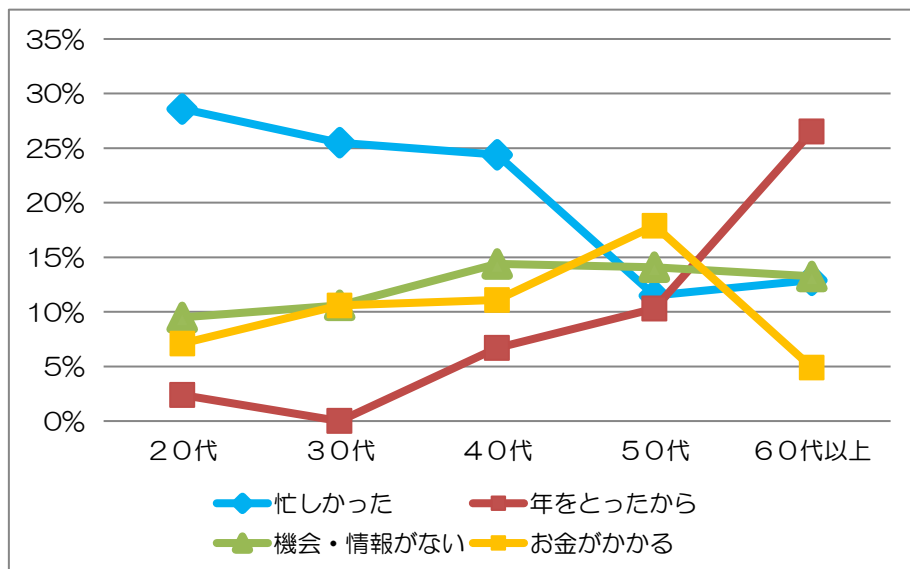
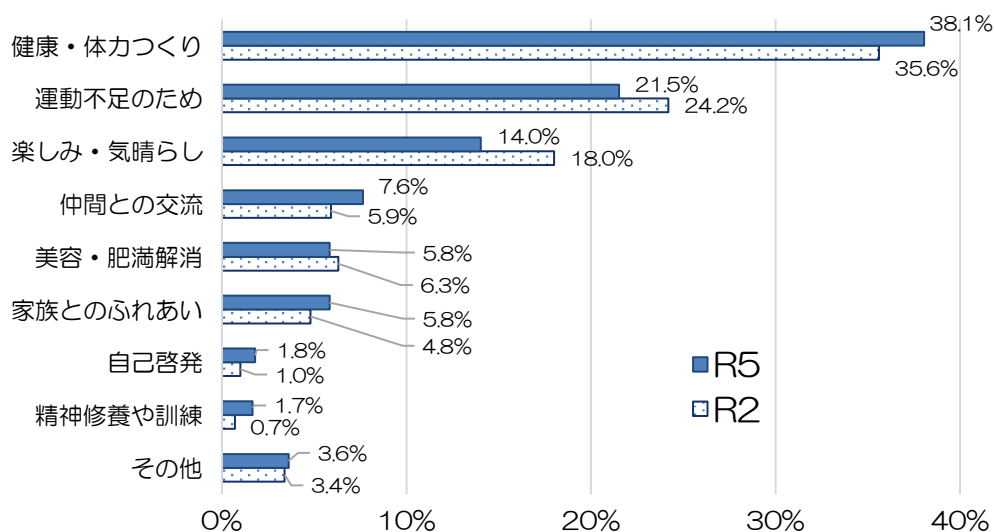


図3 スポーツを行った理由（令和5年度市民意識調査の結果）

スポーツを行った理由



基本施策（１） 誰もがスポーツに参加できる機会の創出

スポーツに関する情報発信の強化

市内のスポーツイベント等について、広報高松をはじめ、ホームページやSNS（フェイスブック、LINE、Xなど）、ラジオ、テレビ、デジタルサイネージなどの各種媒体を活用して、積極的な情報発信を行い、本市のスポーツによる盛り上がりを醸成します。

また、多様な市民ニーズに対応した情報発信を行うため、関係機関と連携し、スポーツイベントやスポーツ教室、施設紹介などの情報を収集し、高松市スポーツ推進委員（以下「スポーツ推進委員」という。）や高松市地域コミュニティ協議会を通じた地域への情報提供を行います。

【取組内容】

- ・様々な媒体を通じての情報提供
- ・地域における情報提供
- ・ホームページ等の充実
- ・多様な市民ニーズに対応した情報の収集と発信

特色あるスポーツイベントの充実

地域の魅力を再発見できるよう、高松市の特色を生かしたウォーキングイベントをはじめ、初心者やスポーツが苦手な人でも気軽に行えるよう、技術やルールが比較的簡単で、誰もが、どこでも、いつでも容易に楽しめるニュースポーツや、障がいの有無に関わらず取り組めるパラスポーツのほか、サイクルスポーツを始めとしたアーバンスポーツなどの多種多様なスポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ環境づくりに努めます。

また、高松市ヨット競技場や高松競輪場の有効活用及びスポーツ推進を図るため、各種競技団体、(公財)高松市スポーツ協会、企業、大学、トップスポーツチームなどとの連携・協力や市民からの提案などを踏まえ、魅力的なイベントの企画・開催を図ります。

【取組内容】

- ・魅力あるスポーツイベントづくり
- ・市民参加型スポーツイベントの実施
- ・スポーツ教室の充実

大学・企業等との連携

大学・企業等との連携の強化により、誰もがスポーツに参加できる機会の創出を加速し、全年代が生活の中にスポーツを取り入れるスポーツインライフ（sports in life）の実現を図ります。

大学・企業等が持つノウハウや最新の技術、人材、サービスを取り込み、魅力的なイベントや教室、研修や講習会を開催し、地域社会において、生涯を通じて切れ目なく気軽にスポーツを実施できる環境づくりを目指します。

【取組内容】

- ・大学・企業等との連携

大学と連携して実施したカマタマーレ讃岐の
試合前のイベントの様子



企業と連携して実施した
「柔道教室」の様子



【数値目標】

●スポーツ振興課ホームページアクセス数

現況値（令和4年度） 72,995件/年

目標値（令和13年度） 80,000件/年

●スポーツイベント参加者数

現況値（令和4年度） 7,315人/年

目標値（令和13年度） 20,000人/年

●大学・企業等とイベント等で連携した回数

現況値（令和4年度） 11件/年

目標値（令和13年度） 15件/年

基本施策（２） スポーツを「ささえる」体制の支援

指導者の資質向上及び研修の充実

(公財)高松市スポーツ協会・民間企業等と連携・協力して、指導者などに講習会を開催し、育成や資質向上に取り組みます。また、スポーツへのニーズの多様化に対応するため、アーバンスポーツやニュースポーツなどの新しいスポーツの指導者の確保に努めます。

また、平成30年度から本格実施された高松市アドバイザースポーツシステム（以下「TASS」という。）については、ニーズに応じた派遣が実施できるよう、周知・啓発に取り組み、認知度の向上につながるよう取り組みます。

【取組内容】

- ・指導者の育成
- ・高松市アドバイザースポーツシステム（TASS）の活用

中学校部活動の地域移行

令和5年度から段階的に始まった中学校運動部活動の地域移行について、高松市教育委員会と連携しながら、地域移行の動向を注視し、指導者の育成などを行い、着実な移行が実現できるよう努めます。

また、地域移行の受け皿として、TASS や総合型地域スポーツクラブを活用し、(公財)高松市スポーツ協会などと連携の強化を図り、地域移行後にすべての子どもがスポーツを継続して取り組むことができる環境の整備を進めます。

【取組内容】

- ・指導者の育成（再掲）
- ・高松市アドバイザースポーツシステム（TASS）の活用（再掲）

【数値目標】

●民間企業と連携して実施した指導者研修の受講者数

現況値（令和4年度） 0人/年

目標値（令和13年度） 100人/年

基本施策（３） スポーツによる健康増進

■ 幼児期からの運動習慣形成

生涯に渡りスポーツに親しみ、楽しむことは、心身の健全な発達や健康・体力増進など様々な効果をもたらすことが期待できますが、少子化の進行や地域の連帯感の希薄化などに伴い、外遊びが減少しており、体を動かす機会の提供が求められます。

幼児期の運動習慣作りは、体力向上はもとより、成人以降のスポーツ習慣や高齢期以降の健康の保持にも大きな影響を及ぼすことから、指導者（スポーツ士）の派遣事業によるスポーツ教室などを開催し、運動習慣形成に取り組めます。

【取組内容】

- ・スポーツ士派遣の実施

■ 働く世代・子育て世代のスポーツ機会の創出

働く世代・子育て世代は、仕事や家事・育児で忙しく、運動が不足している現状を解消するため、働く世代・子育て世代がスポーツを行いやすい環境を目指し、いつでも、手軽にできるスポーツの情報発信や環境整備に努めます。

また、親子で参加できるイベントを充実することで、働き世代・子育て世代のスポーツ機会の創出を図ります。

【取組内容】

- ・親子で参加できるイベントの充実
- ・スポーツ教室の充実（再掲）

【数値目標】

●指導者の派遣回数（スポーツ士）

現況値（令和４年度）	１２回/年
目標値（令和１３年度）	８０回/年

●親子で参加できるイベント実施回数

現況値（令和４年度）	５回/年
目標値（令和１３年度）	１２回/年



高齢者のスポーツの推進

本市の推計人口は、65 歳未満人口の減少と 65 歳以上人口の増加が続
き、高齢化率は緩やかに上昇を続ける見込みとなっています。スポーツは、
運動機能の向上だけでなく、楽しみ・生きがいづくりとしても期待できる
ため、関係部署へ高齢者が参加しやすいスポーツイベントなどの情報提供
をはじめ、高齢者が参加できるイベントの充実を図ります。

【取組内容】

- ・ 高齢者の居場所等への情報発信
- ・ 高齢者が参加できるイベントの充実
- ・ スポーツ教室の充実（再掲）

障がい者のスポーツの推進

障がいのある人にとって、運動やスポーツを行うことは、身体機能の維
持・向上や、健康増進が期待できます。

障がいを理由にスポーツをあきらめることがないように、パラスポーツを
支える人材の育成を含め、身近な場所で、気軽に運動・スポーツを実施す
ることができる環境づくりに取り組むなど、障がい者のスポーツを行う機
会を創出し、地域で実施できるスポーツの場を増やすことで、障がい者の
スポーツ実施率向上につなげ、障がい者の健康増進を図ります。

【取組内容】

- ・ 障がい者が参加できるイベントの充実

【数値目標】

● 高齢者が参加できるイベント実施回数

現況値（令和4年度） 9回/年

目標値（令和13年度） 20回/年

● ニュースポーツ・パラスポーツの振興に関するイベント件数

現況値（令和4年度） 19件/年

目標値（令和13年度） 25件/年



成果指標	現況値(R5)
障がい者(18 歳以上)の 週1 回以上のスポーツ実施率	53.5%



目標値(R13)
70.0%

基本方針2 スポーツで『あつまり、ともに、つながる』

～年齢・障がいの有無などに関係なく、「あつまり」、「ともに」スポーツを楽しみ、人々が「つながる」まちづくりを目指します。～

現状・課題及び今後の方針

本市では、これまで「パラ陸上の聖地」を目指す高松市屋島競技場において、パラ陸上の日本最高峰の大会である日本パラ陸上競技選手権大会やジャパンパラ陸上競技大会を開催し、パラスポーツの普及啓発に取り組んできたほか、東京 2020 大会に向けて、台湾を相手地域としたホストタウン及び共生社会ホストタウンに登録し、スポーツの振興、心のバリアフリー醸成及び共生社会の実現を目指して、各種施策に取り組んできました。

また、スポーツが持つ力を最大限に活かし、特色ある「まちづくり」を実現するためには、民間事業者やスポーツ関係団体等と連携を図ることが重要になります。平成22年度からは、民間主導の下、スタートした都市型のトライアスロン「サンポート高松トライアスロン大会」を実行委員会との共催により開催しているほか、各種スポーツ関係団体と連携し、「高松ファミリー&クォーターマラソン in AJI」などを開催し、スポーツ全般に対する関心の高まりや本市のシティプロモーションの向上を図ってきました。

一方、本市を拠点として活動している地域密着型トップスポーツチームが、地域スポーツの推進や市民の健康増進を図るため、スポーツ教室やイベントなど、地域スポーツの活性化に、積極的に取り組んでいます。

令和5年度高松市民のスポーツに関する意識調査の結果では、「パラスポーツを知っていますか。」の問いに、79.3%の人が「知っている」と回答しました。そのうち、88.7%の人がパラスポーツを体験したことがありませんでした。また、「高松市において、障がいのある人がスポーツを実施しやすい環境をつくるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。」という問いでは、「参加できる教室・イベントなどの機会充実」(31.7%)と回答した市民の割合が最も高い結果となりました。

国の第3期スポーツ基本計画においても、「様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。」という新たな視点が追加されています。また、令和7年11月には、聴覚障がい者の総合スポーツ競技大会、「デフリンピック」が日本で開催されることもあり、今後も引き続き、パラスポーツなどをはじめ、多様性への理解促進、共生社会の実現や、スポーツによるまちづくりに向けて取り組みます。

※ 地域密着型トップスポーツチーム

野球の香川オリブガイナース、バスケットボールの香川ファイブアローズ、サッカーのカタマール讃岐のU-18チームに、アイスホッケーの香川アイスフェローズのアマチュア1チームを加えた計4団体で、各団体が相互に連携し、地域の活性化やスポーツ活動の輪を広めることを目的に各種事業を展開しています。

図4.5 「パラスポーツ」の認知度及び体験したことがあるか（令和5年度市民意識調査の結果）

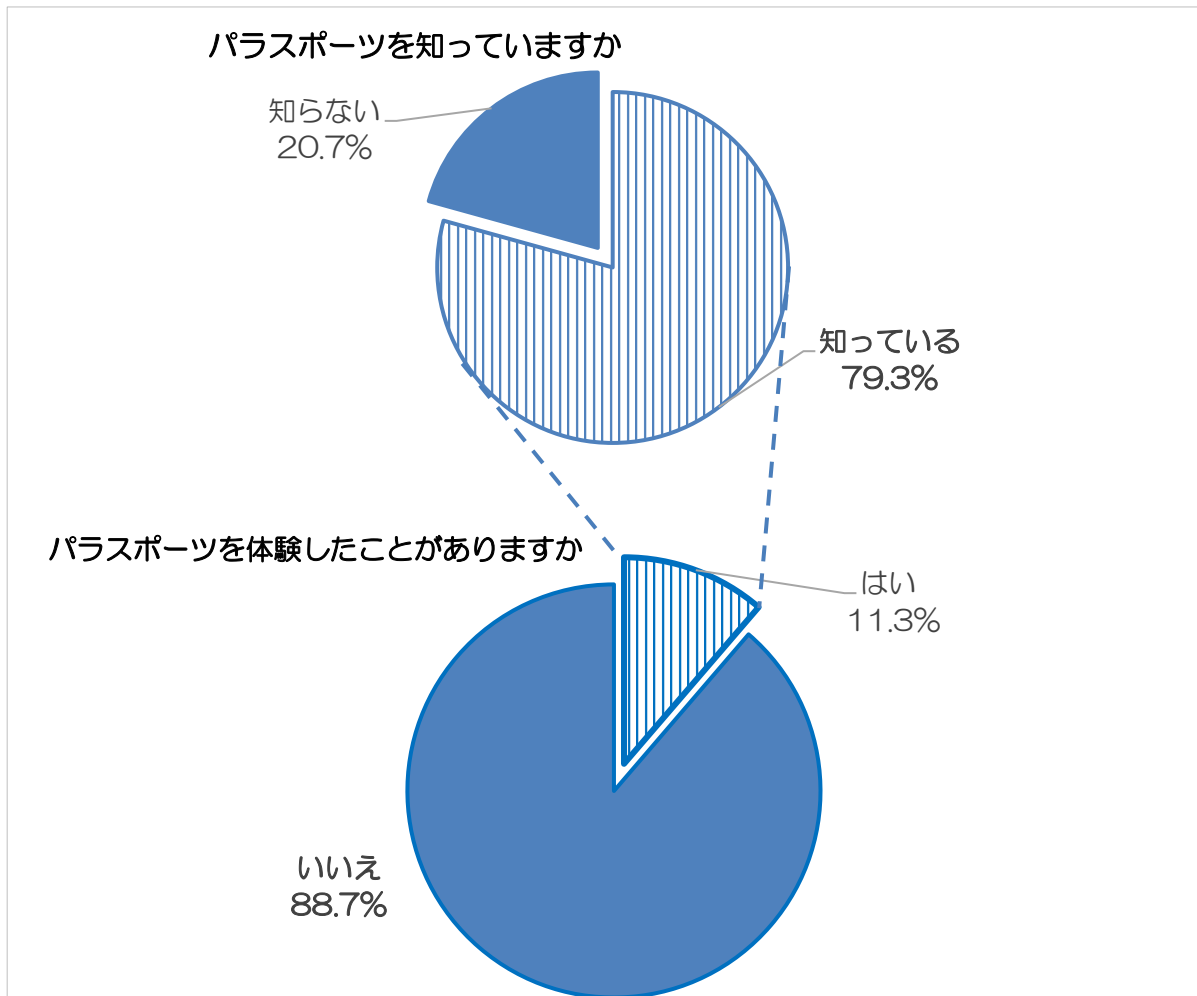
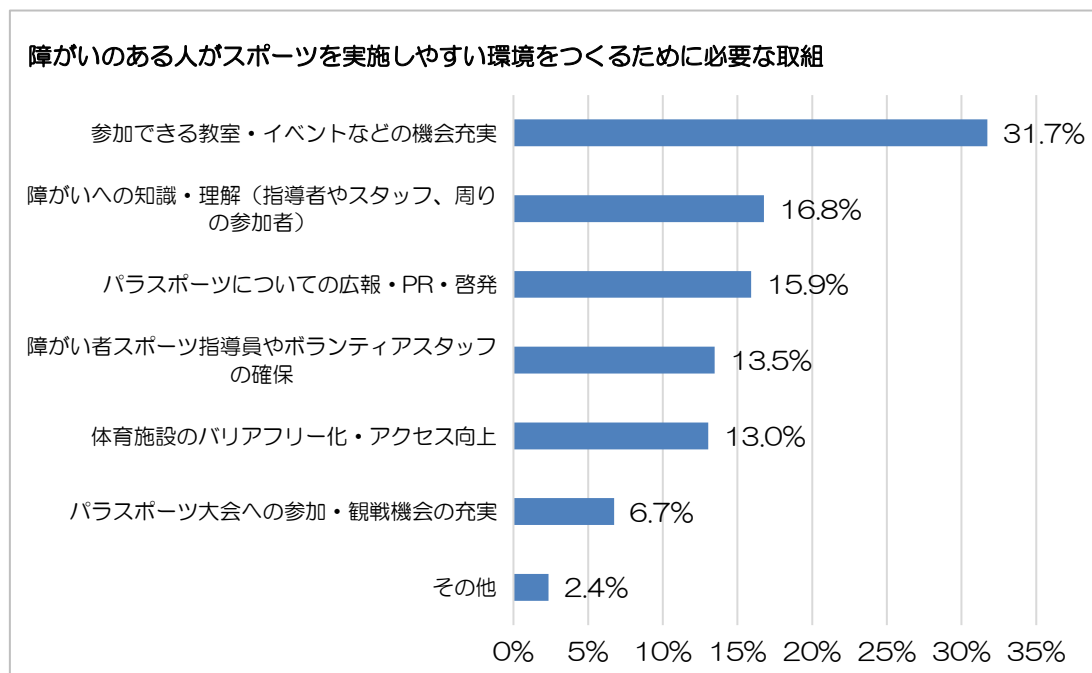


図6 障がいのある人がスポーツを実施しやすい環境をつくるために必要な取組（令和5年度市民意識調査の結果）



基本施策（１） スポーツを通じた共生社会の実現

パラスポーツの理解・啓発

市が実施する「市政出前ふれあいトーク」に理解・啓発に係るテーマを新たに設定し、誰もが参加できる多様なスポーツについて知ってもらい、周囲の人々の理解・関心を高められるよう、啓発を行うとともに、ニュースポーツ・パラスポーツ用品の積極的な貸出やパラアスリートとの交流を通じて、障がいへの理解やパラスポーツへの関心を高めます。

また、市の関係部署と連携し、障がい者が気軽にスポーツをできる機会の創出に努め、共生社会の実現につなげます。

【取組内容】

- ・パラスポーツ活動の促進と環境整備

ニュースポーツ・パラスポーツの推進

スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、年齢、性別、障がいの有無に関係なく、誰もが気軽に楽しむことができる環境づくりが重要になります。

ニュースポーツ・パラスポーツは、こういった特性を持ち合わせていることから、各々の状況に応じて楽しむことができるよう検討し、ニュースポーツ・パラスポーツのイベント（体験会など）を開催することで、普及・推進を図ります。

【取組内容】

- ・パラスポーツ活動の促進と環境整備(再掲)

【数値目標】

●ニュースポーツ・パラスポーツ用品の貸出件数

現況値（令和5年度4月～9月まで） 45件/6か月

目標値（令和13年度） 150件/年



●ニュースポーツ・パラスポーツの振興に関するイベント件数（再掲）

現況値（令和4年度） 19件/年

目標値（令和13年度） 25件/年

基本施策（２） スポーツによる地方創生、まちづくり

■ スポーツ大会等を活用したシティプロモーション

スポーツ大会・スポーツ合宿の開催・誘致を核として、県外から多くの参加者や関係者を受け入れることで、交流人口の拡大を図ります。

毎年開催しているサンポート高松トライアスロンや庵治マラソンをはじめ、高松市屋島競技場を「パラ陸上の聖地」とするべく、定期的にパラスポーツ大会の誘致に取り組み、地域の魅力を高めることで、シティプロモーションを行います。

また、交通規制などの課題もありますが、更なる交流人口の拡大や地域活性化なども見込まれることから、フルマラソン大会の実施について、検討します。

【取組内容】

- ・ 各種大会・合宿等の開催・誘致

■ 地域密着型トップスポーツチーム等との連携

スポーツには、賑わいづくりや地域との交流を深める効果があり、本市が支援する地域密着型トップスポーツチーム等との連携は、交流人口を増加させ、市内外から本市のまちづくりに大きく貢献します。また、地域に根差した活動は、市民がスポーツに接する機会を創出するほか、スポーツに取り組むきっかけを与えるなど、地域でのスポーツの推進にも大きく貢献します。

本市ではホームタウンデーを開催するほか、各種スポーツイベントに地域密着型トップスポーツチーム等の参加を促し、本市のイメージアップ、全国に向けた情報発信、地域との一体感を高め、地域のにぎわい創出やシビックプライドの醸成を促進します。また、これらの実現に向けて効果的な支援を行います。

【取組内容】

- ・ イベント等における連携
- ・ 地域密着型トップスポーツチーム等への支援

【数値目標】

● 各種大会、合宿等の開催・誘致件数

現況値（令和４年度）	５件／年
目標値（令和１３年度）	６件／年

●選手等派遣事業数

現況値（令和4年度）	5回/年
目標値（令和13年度）	20回/年

●地域密着型トップスポーツチーム、4チームのホームゲーム観戦者数

現況値（令和4年度）	56,092件/年
目標値（令和13年度）	128,100件/年

2019 世界パラ陸上競技選手権大会
日本代表合宿の様子



車いすラグビー合宿の様子



地域密着型トップスポーツチームの試合の様子



基本施策（３） 各種スポーツ団体等との連携強化

各種スポーツ団体等の活動支援

市民がスポーツをより身近に感じ、楽しむことができるよう、「高松市におけるスポーツ振興の推進役」として発足した(公財)高松市スポーツ協会と、「成人の週１回以上のスポーツ実施率７０％」の達成に向け、連携を強化し、スポーツ実施率の向上に努めます。

また、(公財)高松市スポーツ協会を中心とした、各関係団体の管理体制や関係団体等の連携・協力を促進するため、(公財)高松市スポーツ協会への支援を行います。

スポーツ選手の顕彰等については、スポーツ選手の意識の高揚や市民のスポーツへの関心を高める契機とするため、本市市民などを対象に国際的な競技大会において顕著な功績を収めた個人又は団体を表彰する「たかまつスポーツ栄誉賞」を創設しており、引き続き取組を行っていきます。

【取組内容】

- ・生涯スポーツ団体の活動支援
- ・競技スポーツ団体の活動支援
- ・青少年スポーツ団体の活動支援
- ・スポーツ選手の顕彰等

たかまつスポーツ栄誉賞表彰式の様子



基本方針3 スポーツに『誰もがアクセスできる』

～地域住民が気軽にスポーツに参加できる、誰もがアクセスしやすい
「場づくり」を提供し、地域からスポーツを盛り上げます。～

現状と課題及び今後の方針

市民が目的や年齢に応じてスポーツに親しむためには、地域住民の多様なニーズに対応できる人材の確保やスポーツ施設の適切な管理運営が必要になります。

本市では、スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進委員を委嘱し、各小学校区（地区）から選出された2名のスポーツ推進委員が、各地区（校区）において、スポーツに関する指導・助言やスポーツの行事の企画運営、行政との連絡調整などの活動を行っていますが、より地域に密着した活動をするためには、更なる資質の向上が求められています。地域スポーツの担い手として、スポーツボランティアの存在も不可欠です。このため、ボランティアに携わる人材の養成と参画できる機会の充実に努める必要があります。

また、本市は、グラウンド、体育館、庭球場などのスポーツ施設を有しており、これら施設の予約を、施設窓口のほか、インターネットからも利用可能な、かがわ電子自治体システムにより受け付けるなど、利用者の利便性の向上に努めています。地域住民が利用できる施設としては、小学校の体育館・運動場を開放しているほか、中学校体育施設についても、一部の中学校の体育館・運動場を一般に開放しており、今後も市民ニーズ等を踏まえた、効果的な対応が求められます。

国の第3期スポーツ基本計画においても、「性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。」という新たな視点が追加されています。この視点に沿って、地域のスポーツ環境の構築に向け、さまざまな取組を行っていきます。

屋島レクザムフィールド
（高松市屋島競技場）

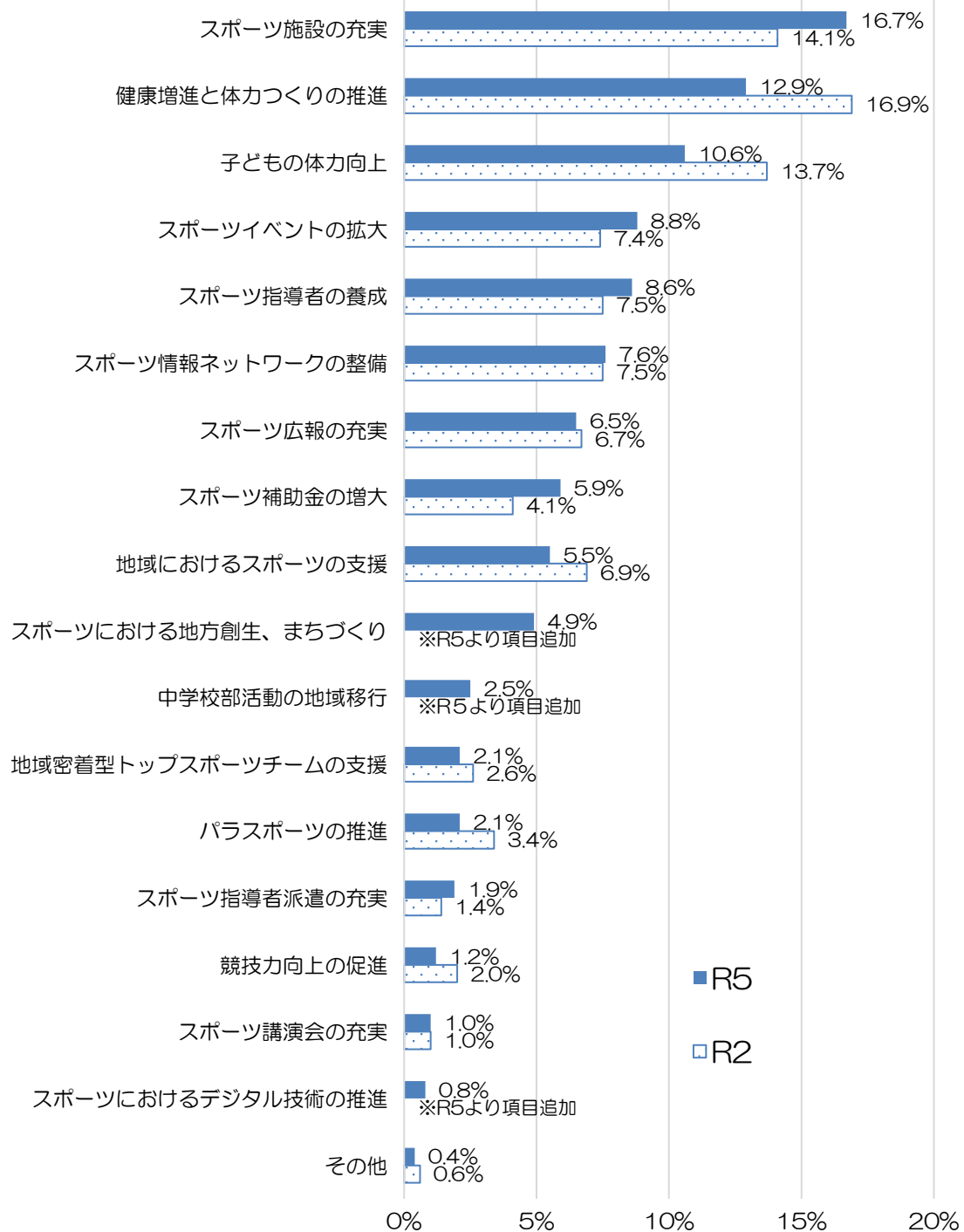


せとうちサスティナブルヨットハーバー
（高松市ヨット競技場）



図7 スポーツ活動推進のための今後10年間の重点課題（令和5年度市民意識調査の結果）

スポーツ活動推進のための今後10年間の重点課題



基本施策（１） 地域のスポーツ環境の構築

地域における「スポーツ系人材」の育成

地域の実情やスポーツニーズに応じた活動を展開するスポーツ推進委員など、地域のスポーツ活動を支える重要な役割を担っている人材を対象とした、研修や講習会に参加を促すことで資質向上や人材確保に努めます。

また、スポーツを「支える」担い手として、スポーツボランティアは必要不可欠な存在であり、平成30年度から本格実施された「高松市スポーツボランティア（TASVO）」の制度の周知・啓発を図るとともに、登録者数の増加やスポーツボランティアの効果的な活用に取り組みます。

【取組内容】

- ・スポーツ推進委員の資質向上
- ・スポーツボランティアの育成と機会の充実

既存施設のフル活用と適切なストックマネジメント

本市スポーツ施設の大半が築30年を経過し、維持管理費の更なる増加が見込まれる中で、市民に安全なスポーツ施設を持続的に提供できるよう、老朽化した施設の計画的な維持保全や施設のユニバーサルデザイン化を行います。

また、将来の人口減少や厳しい財政状況を踏まえ、持続可能な施設総量となるよう配置見直しや複合化等による総量削減を進めることも勘案しながら、既存施設が本当に最大限活用できているか、十分な質のサービスを提供できているかなどを検証し、運用改善を図ります。

【取組内容】

- ・スポーツ施設の管理運営
- ・公園施設との一体管理
- ・スポーツ施設の情報発信
- ・スポーツ施設の整備・充実
- ・維持管理計画の策定
- ・学校体育施設開放の推進

【数値目標】

●スポーツ推進委員の人数

現況値（令和4年度） 76人/年

目標値（令和13年度） 108人/年

●スポーツ施設の利用者数

現況値（令和4年度） 1,917,984人/年

目標値（令和13年度） 2,641,000人/年

第4章 計画の推進

1 計画の推進

関係団体との連携強化

計画に基づく各種基本施策の効果的な推進を図るため、本市と(公財)高松市スポーツ協会、本市スポーツ施設指定管理者及び地域密着型トップスポーツチーム等との連携を強化し、役割分担を明確にしながら、スポーツ推進の体制の充実に努めます。

また、県や周辺市町等と緊密な連携と協調を図りながら、スポーツ施策の推進に努めます。

市民・市民団体等との協働

計画の効果的な推進を図るため、市民・市民団体等との相互理解を深め、適切な役割分担の下で、協働による取組を進めます。

計画の進行管理

計画の適正な進行管理を行うため、計画の基本目標と基本方針ごとの数値目標を設定するとともに、計画の実現に向けて、施策の取組スケジュールを定め、計画的に実施します。

また、計画に掲げた各種施策が達成されるよう、実施状況を把握し、定期的に公表するとともに、高松市スポーツ推進審議会に報告し、計画内容や実施方法の改善について助言を仰ぎます。

高松市スポーツ推進審議会は、高松市におけるスポーツの推進を図るため、条例によって設置されているもので、市内のスポーツ団体の代表等で構成されています。

参考資料

- 第2期高松市スポーツ推進計画策定経過
- 高松市スポーツ推進審議会委員名簿
- 第2期高松市スポーツ推進計画に対する教育委員会の意見について(依頼)
- 第2期高松市スポーツ推進計画に対する教育委員会の意見について(回答)
- 高松市民のスポーツに関する意識調査結果
- 高松市のスポーツ施設一覧

●第2期高松市スポーツ推進計画策定経過

年月日	会 議 等	摘 要
令和4年 11月30日	令和4年度第1回高松市スポーツ推進審議会	スケジュール報告、アンケート内容確認
令和5年 3月3日	令和4年度第2回高松市スポーツ推進審議会	アンケート内容決定
5月1日～ 同月31日	高松市民のスポーツに関する意識調査 (高松市民3,000名発送)	回答数 984人 (回答率 32.8%)
8月25日	令和5年度第1回高松市スポーツ推進審議会	第2期高松市スポーツ推進計画(案)について諮問 アンケート結果報告 第2期高松市スポーツ推進計画(案)について審議
9月28日	令和5年度第2回高松市スポーツ推進審議会	第2期高松市スポーツ推進計画(案)について審議
10月18日	令和5年度第3回高松市スポーツ推進審議会	第2期高松市スポーツ推進計画(案)について審議 答申(案)について審議
10月26日	第2期高松市スポーツ推進計画(案)につい て答申	
12月14日	経済環境調査会	第2期高松市スポーツ推進計画(案)について説明
1月5日～ 同月26日	第2期高松市スポーツ推進計画(案)につい てパブリックコメントの実施	件数1件

●高松市スポーツ推進審議会委員名簿

区 分	氏 名	備 考
会 長	大西 努	(公財)高松市スポーツ協会 会長
副会長	藤尾 博子	上級パラスポーツ指導員
副会長	米村 耕平	香川大学 教育学部 准教授
委 員	今井 由美子	高松市スポーツ推進委員連絡協議会 副会長
委 員	岡 路人	(公財)高松市スポーツ協会 コミュニティスポーツ専門部 副理事長
委 員	岡部 直美	(公財)高松市スポーツ協会 健康・体力づくり専門部 副理事長
委 員	笹崎 莉愛	高松市パラスポーツ協会 理事
委 員	西山 文人	(公財)高松市スポーツ協会 高松市スポーツ少年団 本部長
委 員	元木 倫子	健康運動指導士
委 員	山根 貴雄	アスレティックトレーナー
委 員	吉田 登紀枝	スポーツ指導者

(50音順、敬称略)

高 松 振 第 2 2 6 号

令和5年11月6日

高松市教育委員会

教育長 小柳 和代 殿

高松市長 大 西 秀 人

第2期高松市スポーツ推進計画（案）に対する教育委員会の意見について（依頼）

第2期高松市スポーツ推進計画の策定に当たり、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第2項の規定に基づき、貴委員会の意見をお伺いしたいと存じますので、御回答いただきますようお願いいたします。

高 教 総 第 5 9 号

令和5年11月21日

高松市長 大 西 秀 人 殿

高松市教育委員会

教育長 小柳 和代

第2期高松市スポーツ推進計画（案）に対する意見について（回答）

第2期高松市スポーツ推進計画に対する意見については、下記のとおりですので、よろしくお願いします。

記

スポーツ振興の諸施策を推進するに当たっては、子どもたちが運動に親しむ習慣を身に付けるとともに、体力、運動能力を向上させるほか、年代の違う子どもや大人との交流を通じ、積極性や社会性を養うことにも資するものであることから、積極的に取り組んでいただきたい。

高松市民のスポーツに関する意識調査結果

1 調査の概要

(1) 目 的

市民のスポーツに関する意識と活動の状況を知り、高松市スポーツ推進計画の基礎資料として活用するものです。

(2) 調査期間

令和5年5月1日（月）から令和5年5月31日（水）

(3) 調査方法等

住民基本台帳をもとに、令和5年4月1日現在の15歳以上の市民から、人口、性別に比例するよう無作為抽出をした、男女3,000名を対象に郵送及びオンライン回答方法により実施。

(4) 集計結果

標 本 数	回 収 数	回 収 率 (%)
3,000	984	32.8

2 調査の結果

※「H27」は平成27年度、「R2」は令和2年度調査の数値です。「差異」が無い項目は、令和5年度のみ実施しています。

※各項目の割合は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※性別欄「その他」には、問1で「答えたくない」と回答した人が含まれます。

I. 基本情報

問1・2 性別及び年齢別構成（回答数 984）

性別	10代 (18歳未満)	10代 (18歳以上)	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代 以上	合計
男性（人）	18	5	23	34	68	70	77	92	36	8	431
女性（人）	16	10	45	52	87	92	102	104	32	9	549
その他（人）	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	4
合計（人）	34	16	68	86	156	163	179	197	68	17	984
R5（%）	3.5	1.6	6.9	8.7	15.9	16.6	18.2	20.0	6.9	1.7	
R2（%）	4.7		6.8	10.4	17.7	16.3	18.9	25.3			
差異（%）	0.4		0.1	▲ 1.7	▲ 1.8	0.3	▲ 0.7	3.3			

●前回との比較

10代、20代、50代、70代以上が増加、30代、40代及び60代が減少となっており、70代以上の占める割合が大きくなっている。

問4 職業（回答数 971）

項 目	男性（%）	女性（%）	その他（%）	合計（%）	R2（%）	差異（%）
会社員	38.1	24.0	0.0	30.1	30.6	▲ 0.5
公務員	6.8	5.7	0.0	6.2	7.4	▲ 1.2
自営業	10.8	5.0	25.0	7.6	6.2	1.4
自由業	1.2	1.5	0.0	1.3	1.0	0.3
団体職員	1.9	2.0	0.0	2.0	2.2	▲ 0.2
主婦（夫）	0.9	29.9	50.0	17.3	20.1	▲ 2.8
学生	6.6	5.7	0.0	6.1	5.8	0.3
無職	28.9	15.1	0.0	21.1	19.5	1.6
その他	4.7	11.1	25.0	8.3	7.2	1.1

問5 体の状況（障がいの有無）について（回答数 983）

項 目	男性（%）	女性（%）	その他（%）	合計（%）
障がいがある（障害者手帳を持っている）	4.4	4.4	0.0	4.4
障がいがある（障害者手帳を持っていない）	3.9	2.7	0.0	3.3
障がいがない	89.8	91.2	100.0	90.6
答えたくない	1.9	1.6	0.0	1.7

問6 現在の健康状態について（回答数 981）

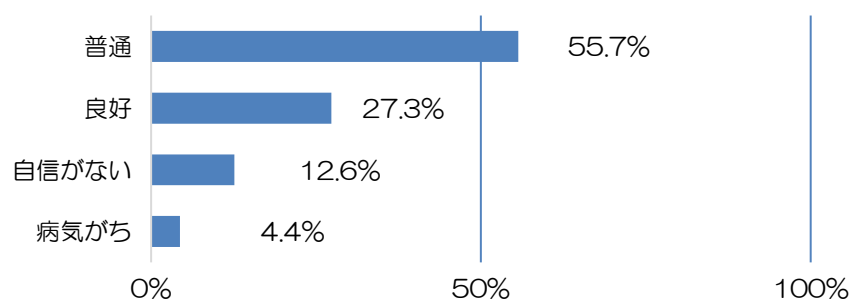
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
良好	28.1	26.9	0.0	27.3	33.3	▲6.0
普通	54.9	56.1	75.0	55.7	55.2	0.5
自信がない	12.8	12.4	25.0	12.6	8.5	4.1
病気がち	4.2	4.6	0.0	4.4	3.1	1.3

・「健康である」と答えた者の割合が83.0%（「良好」27.3%、「普通」55.7%）、あまり健康でないと答えた者の割合が17.0%（「自信がない」12.6%、「病気がち」4.4%）となっている。

●前回との比較

「健康である（良好・普通）」と答えた者の割合が5.5%減少、「あまり健康でない（自信がない・病気がち）」と答えた者の割合が5.4%増加している。

現在の健康状態



問7 運動不足を感じていますか。（回答数 983）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
大いに感じる	23.4	38.3	50.0	31.8	34.4	▲2.6
ある程度感じる	48.3	40.7	50.0	44.0	43.6	0.4
あまり感じない	17.9	14.8	0.0	16.1	15.0	1.1
ほとんど（全く）感じない	8.8	5.1	0.0	6.7	6.0	0.7
わからない	1.6	1.1	0.0	1.3	1.1	0.2

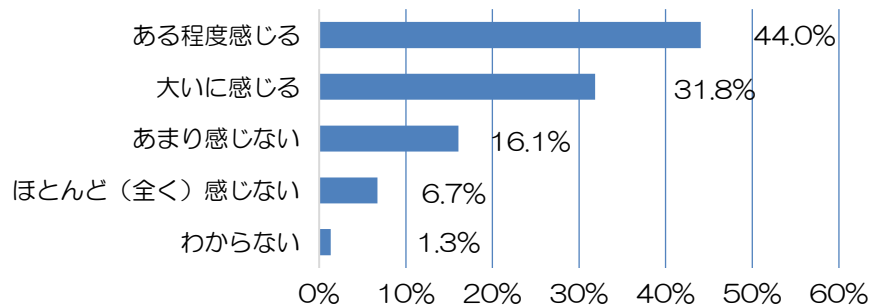
・「運動不足を感じる」と答えた者の割合が75.8%（「大いに感じる」31.8%、「ある程度感じる」44.0%）、「運動不足を感じない」と答えた者の割合が22.8%（「あまり感じない」16.1%、「ほとんど感じない」6.7%）となっている。

・問5で、「障がいがある(障害者手帳を持っている)」及び「障がいがある(障害者手帳を持っていない)」と答えた者が回答した者のうち、「運動不足を感じる」と答えた者の割合が78.4%（「大いに感じる」33.8%、「ある程度感じる」44.6%）、「運動不足を感じない」と答えた者の割合が16.3%（「あまり感じない」9.5%、「ほとんど感じない」6.8%）となっている。

●前回との比較

「運動不足を感じる」と答えた者の割合が2.2%減少、「運動不足を感じない」と答えた者の割合が1.8%増加している。

運動不足を感じるか



Ⅱ. スポーツ活動の状況について

問8 あなたにとって、スポーツは必要だと思いますか。（回答数 979）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
必要である	90.0	85.7	75.0	87.5	90.5	▲3.0
必要でない	10.0	14.3	25.0	12.5	9.5	3.0

・「必要である」とする者の割合が87.5%、「必要でない」とする者が12.5%となっている。

【1. 必要である を選んだ方にお聞きします。】

① どういうところで必要だと思いますか。（回答数 847）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
健康増進・体力づくりのため	48.4	55.8	33.3	52.4	46.6	5.8
運動不足解消のため	25.3	22.0	33.3	23.5	26.7	▲3.2
ストレス発散のため	9.2	6.3	0.0	7.6	10.9	▲3.3
美容や肥満解消のため	2.9	8.8	0.0	6.1	6.7	▲0.6
友人・仲間との交流のため	8.2	4.1	0.0	5.9	6.5	▲0.6
自己の記録や能力を向上させるため	3.2	1.3	0.0	2.1	0.8	1.3
精神の修養や訓練のため	1.1	0.6	33.3	0.9	1.2	▲0.3
家族との交流のため	1.3	0.4	0.0	0.8	0.3	0.5
その他	0.5	0.6	0.0	0.6	0.1	0.5

・スポーツが必要である理由としては、「健康増進・体力づくりのため」と答えた者の割合が52.4%と最も多く、次いで、「運動不足解消のため」（23.5%）、「ストレス発散のため」（7.6%）、「美容や肥満解消のため」（6.1%）などが上位に挙げられている。

問9 この1年間（令和4年4月から令和5年3月まで）に、1回以上スポーツ活動を行いましたか。（回答数 969）

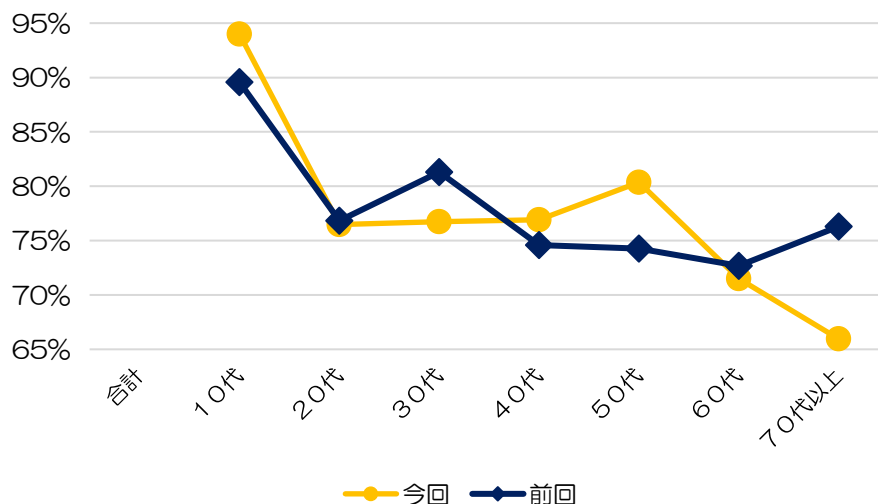
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
行った	76.8	74.1	100.0	75.3	76.2	▲ 0.9
行わなかった	23.2	25.9	0.0	24.7	23.8	0.9

・「行った」と答えた者の割合が75.3%、「行わなかった」と答えた者の割合が24.7%となっている。

問9-1 スポーツ活動を行った人の年代別割合 （回答数 730）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
行った	97.1	87.5	76.5	76.7	76.9	80.4	71.5	69.0	66.2	29.4

スポーツ活動を行った人の年代別割合（前回との比較）



●前回との比較

「行った」と答えた者の割合が0.9%減少している。

◆年代別比較

「行った」と答えた者の割合は、10代が最も高く、60代から減少傾向にある。

【1. 行った を選んだ方にお聞きします。】

① どのくらい行いましたか。（回答数 727）

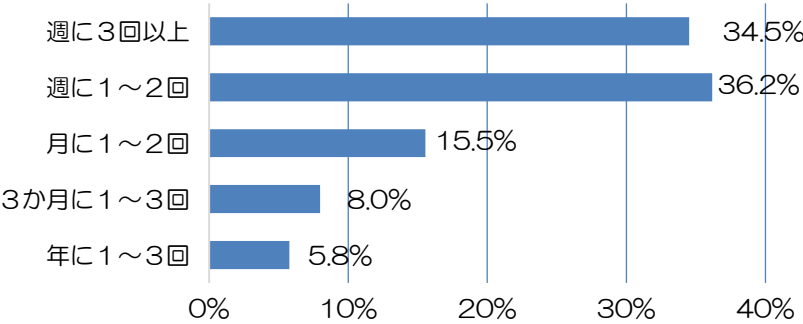
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
週に3回以上	35.6	33.9	0.0	34.5	35.5	▲1.0
週に1～2回	35.9	36.2	66.7	36.2	35.2	1.0
月に1～2回	15.8	15.5	0.0	15.5	18.7	▲3.2
3か月に1～3回	8.0	7.7	33.3	8.0	5.5	2.5
年に1～3回	4.6	6.7	0.0	5.8	5.1	0.7

・「週に3回以上（年156日以上）」と答えた者の割合が34.5%、「週に1～2回（年52日～104日）」と答えた者の割合が36.2%、「月に1～2回（年12日～24日）」と答えた者の割合が15.5%、「3か月に1～3回（年4～12日）」と答えた者の割合が8.0%、「年に1～3回」と答えた者の割合が5.8%となっている。

●前回との比較

「月に1～2回（年12日～24日）」と答えた者の割合が3.2%減少、「週に3回以上（年156日以上）」と答えた者の割合が1.0%減少、「週に1～2回（年52日～104日）」と答えた者の割合が1.0%増加、「3か月に1～3回（年4日～12日）」と答えた者の割合が2.5%増加している。

1年間のスポーツ活動の頻度



①ー1 スポーツ活動を行った人の年代別割合（回答数 727）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
週に3回以上	66.7	28.6	26.9	19.7	24.4	26.7	36.7	47.4	45.5	60.0
週に1～2回	33.3	42.9	28.8	33.3	36.1	42.7	32.0	37.8	38.6	20.0
月に1～2回	0.0	14.3	15.4	25.8	21.0	15.3	19.5	8.9	6.8	20.0
3か月に1～3回	0.0	14.3	15.4	10.6	10.1	10.7	5.5	4.4	4.5	0.0
年に1～3回	0.0	0.0	13.5	10.6	8.4	4.6	6.3	1.5	4.5	0.0

◆年代別比較

10代（18歳未満）・60代以上では、「週に3回以上」、10代（18歳以上）から50代では、「週に1～2回」の割合が高くなっている。

[基本目標]

項 目	計画策定時 (H27)	目標値 (R5)	前回実績 (R2)	今回実績 (R5) (20歳以上)
成人の週1回以上の スポーツ実施率 (%)	53.1	70.0	52.2	51.3 ※18歳以上は51.4%

●前回との比較

週1回以上スポーツを行ったと答えた成人（20歳以上）の割合が0.9%減少している。

② そのスポーツの種目は、主に何ですか。（回答数 725）

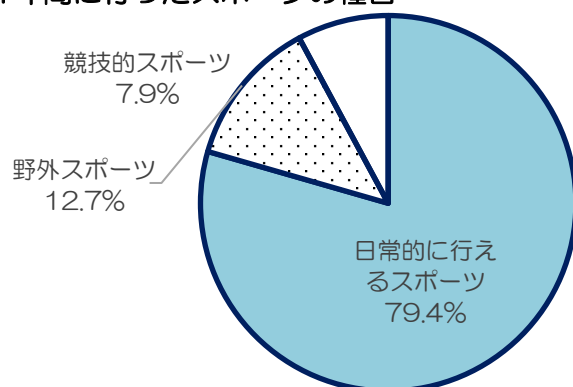
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
日常的に行えるスポーツ	68.5	88.4	66.7	79.4	81.1	▲1.7
野外スポーツ	13.9	3.0	0.0	7.9	6.6	1.3
競技的スポーツ	17.6	8.5	33.3	12.7	12.3	0.4

・「日常的に行えるスポーツ」と答えた者の割合が79.4%、「競技的スポーツ」と答えた者の割合が12.7%、「野外スポーツ」と答えた者の割合が7.9%となっている。

●前回との比較

「日常的に行えるスポーツ」と答えた者の割合が1.7%減少、「野外スポーツ」と答えた者の割合が1.3%、「競技的スポーツ」と答えた者の割合が0.4%増加している。

1年間に行ったスポーツの種目



②-1 行ったスポーツの種目の年代別割合 （回答数 725）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
日常的に行えるスポーツ	36.4	50.0	71.2	83.3	76.7	78.6	83.6	88.8	93.0	100
野外スポーツ	6.1	0.0	7.7	4.5	10.0	9.2	10.2	6.7	4.7	0.0
競技的スポーツ	57.6	50.0	21.2	12.1	13.3	12.2	6.3	4.5	2.3	0.0

◆年代別比較

年齢が高くなるにつれて「日常的に行えるスポーツ」の割合は高くなり、「競技的スポーツ」の割合は低くなる。

③ そのスポーツは、主にどこで行いましたか。（回答数 720）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
道路	31.9	31.2	33.3	31.5	34.4	▲2.9
自宅	9.0	21.6	33.3	16.0	14.8	1.2
民間スポーツ施設	12.7	11.4	0.0	11.9	12.4	▲0.5
公的スポーツ施設	9.9	8.4	0.0	9.0	9.4	▲0.4
学校	9.3	6.1	33.3	7.6	7.0	0.6
公園・広場	8.4	6.6	0.0	7.4	7.1	0.3
山・川・海	10.8	4.1	0.0	7.1	4.6	2.5
コミュニティセンター	1.9	5.1	0.0	3.6	3.7	▲0.1
職場施設	3.4	2.3	0.0	2.8	3.0	▲0.2
その他	2.8	3.3	0.0	3.1	3.7	▲0.6

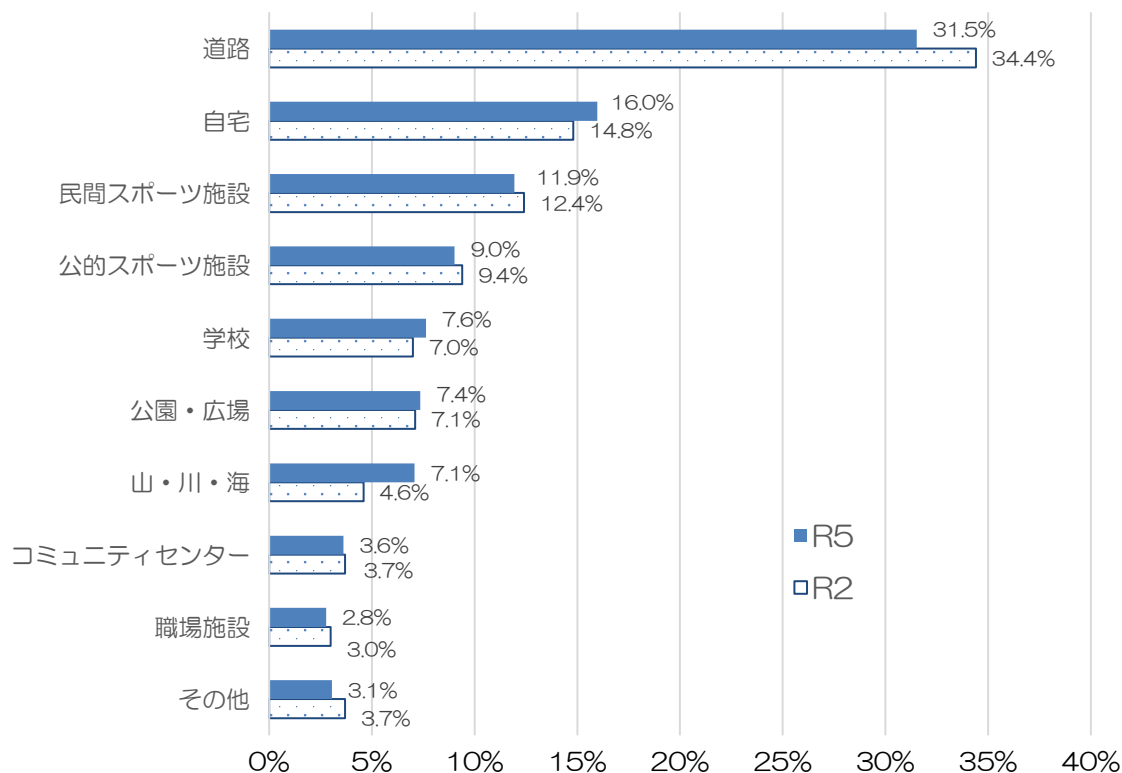
・「道路」と答えた者の割合が31.5%、「自宅」と答えた者の割合が16.0%、「民間スポーツ施設」と答えた者の割合が11.9%、以下、「公的スポーツ施設」（9.0%）などが上位となっている。

・問5で、「障がいがある(障害者手帳を持っている)」及び「障がいがある(障害者手帳を持っていない)」と答えた者が、スポーツを行った場所として回答した項目は、「道路」（24.4%）、「自宅」（24.4%）などが上位となっている。

●前回との比較

「山・川・海」と答えた者の割合が2.5%増加、「自宅」と答えた者の割合が1.2%増加した一方、「道路」と答えた者の割合が2.9%減少している。

スポーツを行った場所



③ー１ スポーツ活動を行った場所の年代別割合（回答数 720）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
道路	12.1	35.7	39.2	31.8	37.8	30.0	30.5	30.8	28.6	25.0
自宅	0.0	0.0	13.7	24.2	20.2	17.7	16.4	13.5	14.3	0.0
民間スポーツ施設	9.1	7.1	15.7	10.6	6.7	9.2	18.8	12.0	14.3	25.0
公的スポーツ施設	0.0	0.0	13.7	9.1	11.8	9.2	6.3	12.0	4.8	0.0
公園・広場	0.0	7.1	3.9	7.6	7.6	4.6	6.3	10.5	14.3	50.0
学校	75.8	50.0	5.9	3.0	5.0	5.4	2.3	0.0	4.8	0.0
山・川・海	3.0	0.0	2.0	6.1	5.9	10.0	7.8	11.3	0.0	0.0
コミュニティセンター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	3.1	6.3	6.0	11.9	0.0
職場施設	0.0	0.0	2.0	4.5	3.4	6.9	2.3	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	3.9	3.0	0.8	3.8	3.1	3.8	7.1	0.0

◆年代別比較

10代では「学校」、20代以上は「道路」の割合が高くなっている。

④ 1回の運動時間はどのくらいですか。（回答数 721）

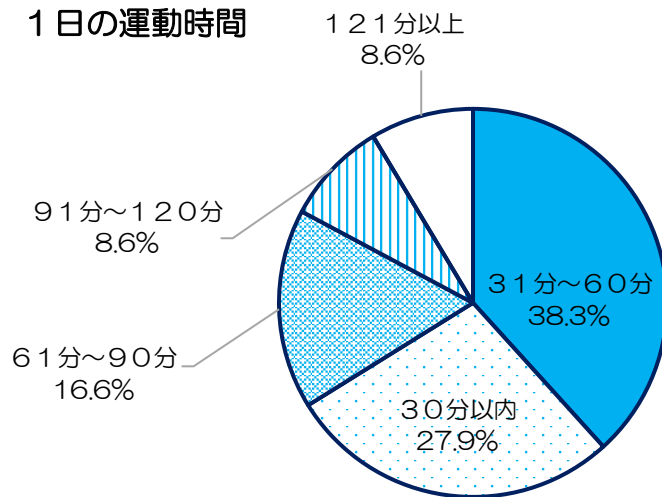
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
31分～60分	38.8	37.9	33.3	38.3	37.4	▲0.9
30分以内	16.8	36.9	33.3	27.9	28.0	0.1
61分～90分	16.8	16.4	33.3	16.6	16.7	0.1
91分～120分	12.1	5.8	0.0	8.6	9.1	0.5
121分以上	15.5	3.0	0.0	8.6	8.9	0.3

・「31分～60分」と答えた者の割合が38.3%、「30分以内」と答えた者の割合が27.9%、以下、「61分～90分」（16.6%）などが上位となっている。

●前回との比較

「31分～60分」と答えた者の割合が0.9%減少、「91分～120分」と答えた者の割合が0.5%増加となっている。

1日の運動時間



④-1 1回の運動時間の年代別割合（回答数 721）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
30分以内	3.0	21.4	25.0	34.8	33.3	30.5	29.4	25.8	23.3	0.0
31分～60分	39.4	50.0	34.6	37.9	34.2	33.6	40.5	40.2	46.5	100
61分～90分	15.2	21.4	13.5	13.6	14.2	19.8	14.3	20.5	18.6	0.0
91分～120分	24.2	0.0	13.5	7.6	6.7	9.2	8.7	5.3	9.3	0.0
121分以上	18.2	7.1	13.5	6.1	11.7	6.9	7.1	8.3	2.3	0.0

◆年代別比較

全ての年代で「31分～60分」の割合が高くなっている。

⑤ スポーツを行った理由は、主に何ですか。（回答数 720）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
健康・体力づくり	36.5	39.3	33.3	38.1	35.6	2.5
運動不足のため	21.4	21.8	0.0	21.5	24.2	▲2.7
楽しみ・気晴らし	17.3	10.9	66.7	14.0	18.0	▲4.0
仲間との交流	9.6	6.1	0.0	7.6	5.9	1.7
美容・肥満解消	3.4	7.9	0.0	5.8	6.3	▲0.5
家族とのふれあい	4.6	6.9	0.0	5.8	4.8	1.0
自己啓発	2.5	1.3	0.0	1.8	1.0	0.8
精神修養や訓練	2.2	1.3	0.0	1.7	0.7	1.0
その他	2.5	4.6	0.0	3.6	3.4	0.2

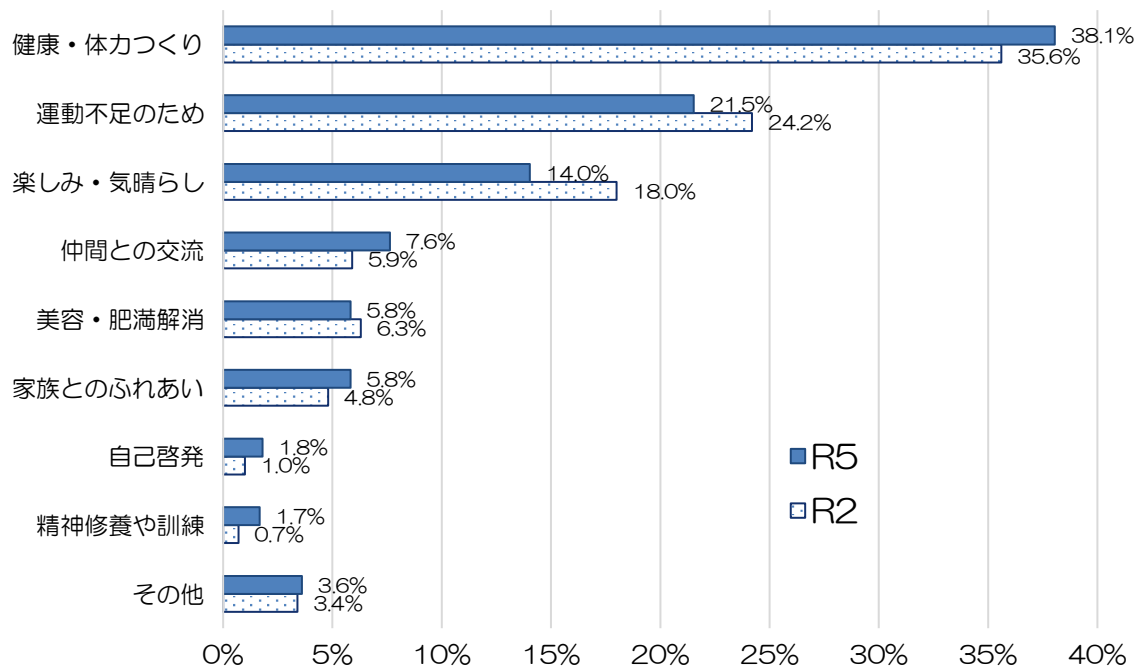
・「健康・体力づくり」（38.1%）、「運動不足のため」（21.5%）などが上位となっている。

・問5で、「障がいがある(障害者手帳を持っている)」及び「障がいがある(障害者手帳を持っていない)」と答えた者が、スポーツを行った理由として回答した項目は、「健康・体力づくり」（50.0%）、「運動不足のため」（20.8%）などが上位となっている。

●前回との比較

「健康・体力づくり」と答えた者の割合が 2.5%増加、「楽しみ・気晴らし」と答えた者の割合が 4.0%減少、「運動不足のため」と答えた者の割合が2.7%減少している。

スポーツを行った理由



⑤ー１ スポーツを行った理由の年代別割合（回答数 720）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
健康・体力づくり	30.3	14.3	11.5	24.2	30.8	33.1	52.4	57.3	41.9	20.0
運動不足のため	3.0	0.0	19.2	21.2	23.3	24.6	20.6	24.4	23.3	40.0
楽しみ・気晴らし	9.1	50.0	23.1	12.1	13.3	15.4	14.3	8.4	14.0	0.0
仲間との交流	12.1	21.4	9.6	9.1	4.2	9.2	6.3	3.8	14.0	20.0
美容・肥満解消	3.0	7.1	15.4	18.2	6.7	5.4	3.2	0.8	0.0	0.0
家族とのふれあい	0.0	0.0	7.7	10.6	17.5	6.2	0.8	0.0	2.3	0.0
自己啓発	12.1	7.1	0.0	1.5	0.0	1.5	0.8	2.3	2.3	0.0
精神修養や訓練	6.1	0.0	5.8	3.0	0.0	2.3	0.0	0.8	2.3	0.0
その他	24.2	0.0	7.7	0.0	4.2	2.3	1.6	2.3	0.0	20.0

◆年代別比較

10代（18歳以上）、20代では「楽しみ・気晴らし」、10代（18歳未満）、30代以上では「健康・体力づくり」の割合が高くなっている。

⑥ スポーツを行って得られたものは、主に何ですか。（回答数 711）

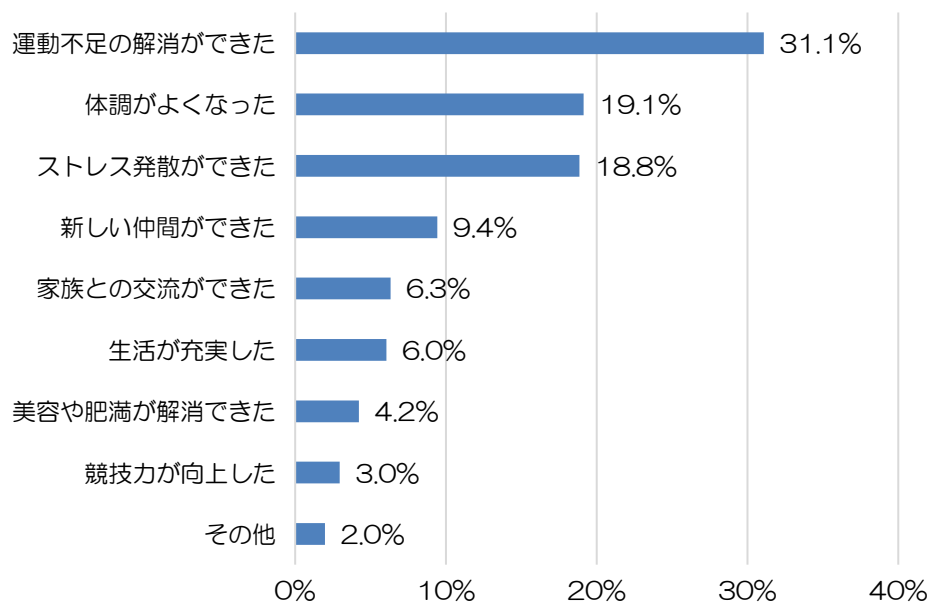
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
運動不足の解消ができた	32.4	30.0	33.3	31.1	27.3	3.8
体調がよくなった	16.4	21.3	33.3	19.1	18.7	0.4
ストレス発散ができた	20.4	17.7	0.0	18.8	24.5	▲5.7
新しい仲間ができた	11.0	7.9	33.3	9.4	8.2	1.2
家族との交流ができた	3.5	8.7	0.0	6.3	6.5	▲0.2
生活が充実した	4.7	7.2	0.0	6.0	6.5	▲0.5
美容や肥満が解消できた	4.4	4.1	0.0	4.2	2.2	2.0
競技力が向上した	5.0	1.3	0.0	3.0	3.4	▲0.4
その他	2.2	1.8	0.0	2.0	2.8	▲0.8

・「運動不足の解消ができた」(31.1%)、「体調がよくなった」(19.1%)、「ストレス発散ができた」(18.8%)などが上位となっている。

●前回との比較

「運動不足の解消ができた」と答えた者の割合が 3.8%増加、「ストレス発散ができた」と答えた者の割合が 5.7%減少していることが大きな変化となっている。

スポーツを行って得られたもの



【2. 行わなかった を選んだ方にお聞きます。】

⑦ スポーツを行わなかった理由は何ですか。（回答数 525）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
忙しかった	17.4	17.6	0.0	17.5	21.5	▲4.0
年をとったから	18.8	14.7	0.0	16.4	11.2	5.2
機会・情報がない	10.3	14.7	0.0	13.0	16.7	▲3.7
お金がかかる	8.5	8.7	0.0	8.6	7.5	1.1
スポーツが好きでない	7.0	8.0	0.0	7.6	9.7	▲2.1
新型コロナウイルス感染の不安	6.6	8.0	0.0	7.4	—	—
場所・施設がない	7.0	6.1	0.0	6.5	4.5	2.0
仲間がいない	8.5	5.1	0.0	6.5	8.4	▲1.9
下手である	5.2	5.8	0.0	5.5	6.4	▲0.9
身体が弱いから	2.8	3.5	0.0	3.2	3.4	▲0.2
用具がない	4.2	1.9	0.0	2.9	3.4	▲0.5
指導者がいない	1.9	1.9	0.0	1.9	1.3	0.6
その他	1.9	3.8	0.0	3.0	6.0	▲3.0

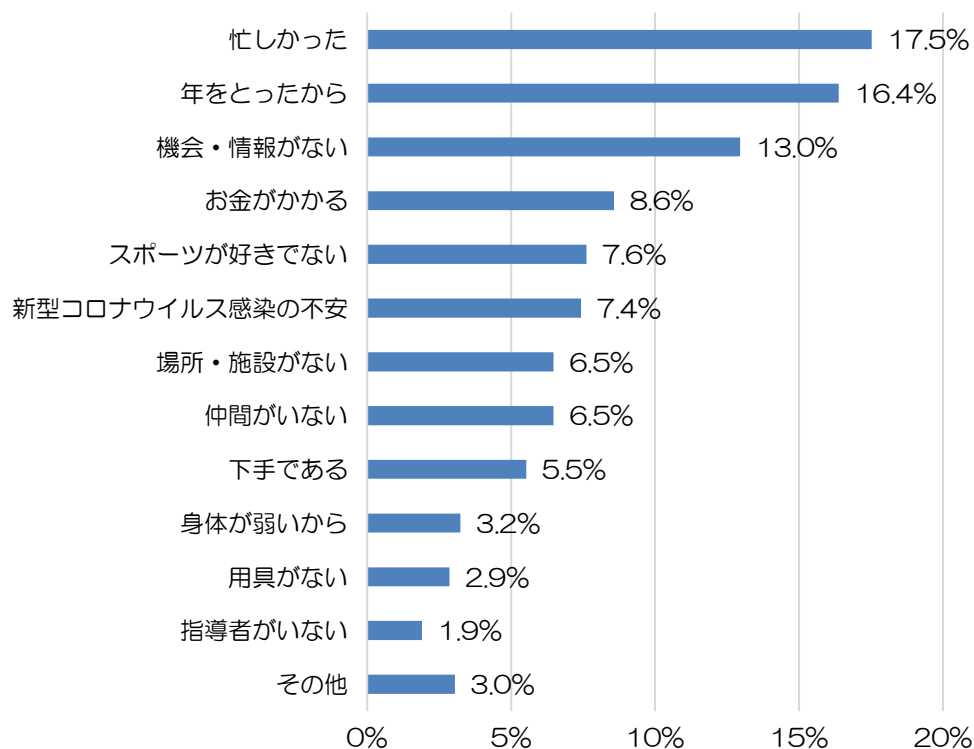
・「忙しかった」と答えた者の割合が 17.5%、「年をとったから」と答えた者の割合が 16.4%、「機会・情報がない」と答えた者の割合が 13.0%、以下、「お金がかかる」(8.6%)、「スポーツが好きでない」(7.6%)などが上位となっている。

・問5で、「障がいがある(障害者手帳を持っている)」及び「障がいがある(障害者手帳を持っていない)」と答えた者が、スポーツを行わなかった理由として回答した項目は、「年をとったから」(22.2%)、「身体が弱いから」(15.6%)などが上位となっている。

●前回との比較

「年をとったから」と答えた者の割合が 5.2%増加、「忙しかった」と答えた者の割合が 4.0%減少、「機会・情報がない」と答えた者の割合が 3.7%減少していることが大きな変化となっている。

スポーツを行わなかった理由



⑦-1 スポーツを行わなかった理由の年代別割合（回答数 525）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
忙しかった	100.0	66.7	28.6	25.5	24.4	11.5	16.7	13.8	5.7	0.0
年をとったから	0.0	33.3	2.4	0.0	6.7	10.3	19.8	23.3	45.7	47.1
機会・情報がない	0.0	0.0	9.5	10.6	14.4	14.1	17.7	14.7	2.9	0.0
お金がかかる	0.0	0.0	7.1	10.6	11.1	17.9	5.2	6.0	0.0	5.9
スポーツが好きでない	0.0	0.0	16.7	10.6	7.8	9.0	5.2	5.2	5.7	5.9
新型コロナウイルス感染の不安	0.0	0.0	4.8	0.0	7.8	12.8	8.3	9.5	0.0	5.9
場所・施設がない	0.0	0.0	4.8	6.4	7.8	5.1	6.3	7.8	5.7	5.9
仲間がいない	0.0	0.0	4.8	8.5	8.9	5.1	8.3	5.2	2.9	5.9
下手である	0.0	0.0	11.9	14.9	3.3	6.4	3.1	2.6	5.7	5.9
身体が弱いから	0.0	0.0	4.8	0.0	2.2	1.3	1.0	3.4	17.1	5.9
用具がない	0.0	0.0	2.4	4.3	3.3	2.6	1.0	3.4	2.9	5.9
指導者がいない	0.0	0.0	0.0	2.1	2.2	1.3	2.1	2.6	0.0	5.9
その他	0.0	0.0	2.4	6.4	0.0	2.6	5.2	2.6	5.7	0.0

◆年代別比較

10代～40代では「忙しかった」、60代以上では「年をとったから」の割合が高くなっている。

問10 将来、やってみたいスポーツの種目は、何ですか。（回答数 877）

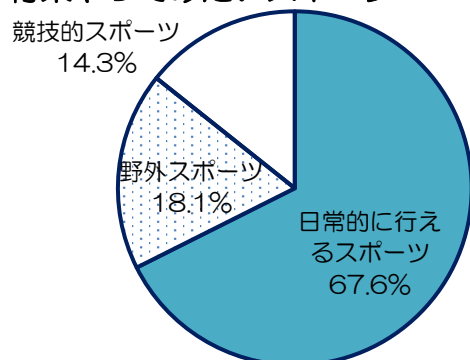
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
日常的に行えるスポーツ	55.8	77.4	33.3	67.6	61.8	5.8
野外スポーツ	25.1	12.2	66.7	18.1	23.0	▲4.9
競技的スポーツ	19.2	10.4	0.0	14.3	15.1	▲0.8

・「日常的に行えるスポーツ」と答えた者の割合が67.6%、「野外スポーツ」と答えた者の割合が18.1%、「競技的スポーツ」と答えた者の割合が14.3%となっている。

●前回との比較

「日常的に行えるスポーツ」と答えた者の割合が5.8%増加、「野外スポーツ」と答えた者の割合が4.9%減少、「競技的スポーツ」と答えた者の割合が0.8%減少している。

将来やってみたいスポーツ



問10-1 将来、やってみたいスポーツの種目の年代別割合（回答数 877）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
日常的に行えるスポーツ	27.3	46.7	60.3	71.8	60.5	65.6	73.6	77.5	75.0	81.8
野外スポーツ	24.2	20.0	20.6	11.5	23.8	26.0	16.0	11.2	13.6	0.0
競技的スポーツ	48.5	33.3	19.0	16.7	15.6	8.4	10.4	11.2	11.4	18.2

◆年代別比較

年齢が高くなるにつれて「日常的に行えるスポーツ」の割合が高くなっている。

Ⅲ. スポーツクラブやスポーツ教室の加入について

問11 現在、スポーツクラブやスポーツ教室に加入していますか。（回答数 963）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
加入している	16.6	14.5	25	15.5	19.7	▲4.2
加入していない	83.4	85.5	75	84.5	80.3	4.2

・「加入している」と答えた者の割合が15.5%、「加入していない」と答えた者の割合が84.5%となっている。

●前回との比較

「加入している」と答えた者の割合が4.2%減少している。

【1. 加入している を選んだ方にお聞きます。】

① 主にどのようなクラブやスポーツ教室ですか。（回答数 145）

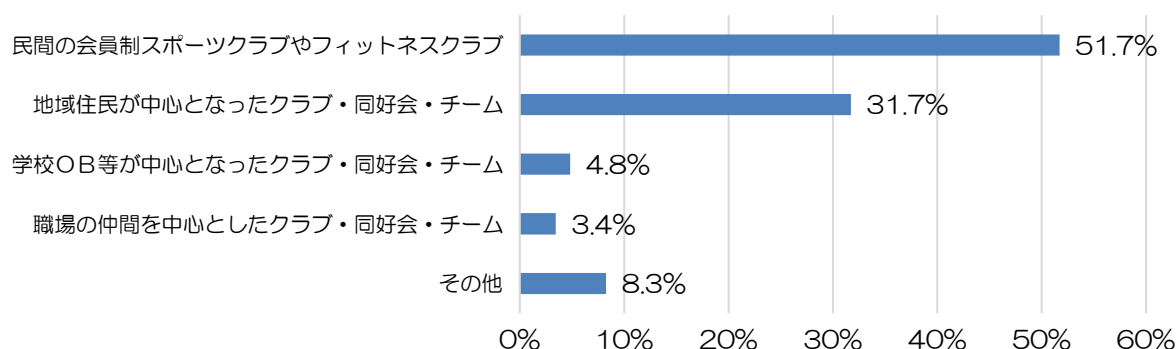
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ	31.3	70.1	0.0	51.7	43.2	8.5
地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム	40.3	23.4	100.0	31.7	37.0	▲5.3
学校 OB 等が中心となったクラブ・同好会・チーム	9.0	1.3	0.0	4.8	5.2	▲0.4
職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・チーム	6.0	1.3	0.0	3.4	4.7	▲1.3
その他	13.4	3.9	0.0	8.3	9.9	▲1.6

・「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」と答えた者の割合が51.7%、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム」と答えた者の割合が31.7%、以下、「学校 OB 等が中心となったクラブ・同好会・チーム」（4.8%）、「職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・チーム」（3.4%）などが上位となっている。

●前回との比較

「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」と答えた者の割合が8.5%増加、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム」と答えた者の割合が5.3%減少していることが大きな変化となっている。

現在加入しているクラブ・教室の形態



② そのスポーツの種目は、主に何ですか。（回答数 145）

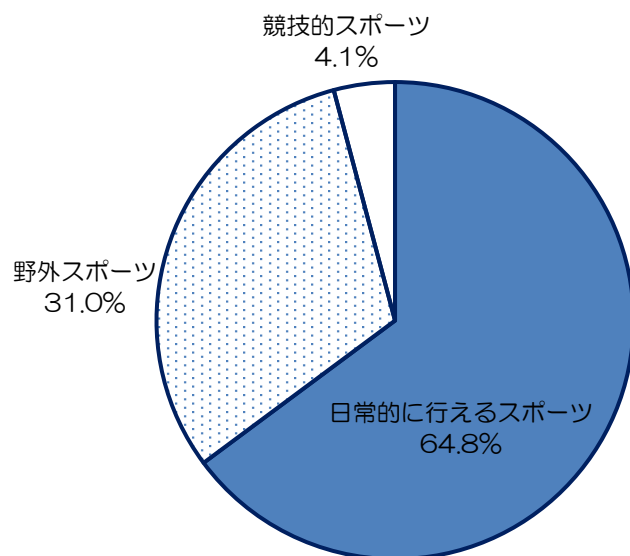
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
日常的に行えるスポーツ	45.6	82.9	0.0	64.8	59.2	5.6
競技的スポーツ	47.1	15.8	100.0	31.0	35.9	▲4.9
野外スポーツ	7.4	1.3	0.0	4.1	4.9	▲0.8

・「日常的に行えるスポーツ」と答えた者の割合が64.8%、「競技的スポーツ」と答えた者の割合が31.0%、野外スポーツ」と答えた者の割合が4.1%となっている。

●前回との比較

「日常的に行えるスポーツ」と答えた者の割合が増加し、「野外スポーツ」、「競技的スポーツ」と答えた者の割合が減少となっている。

スポーツクラブ・教室の種目



③ 加入した主な動機は何ですか。（回答数 109）

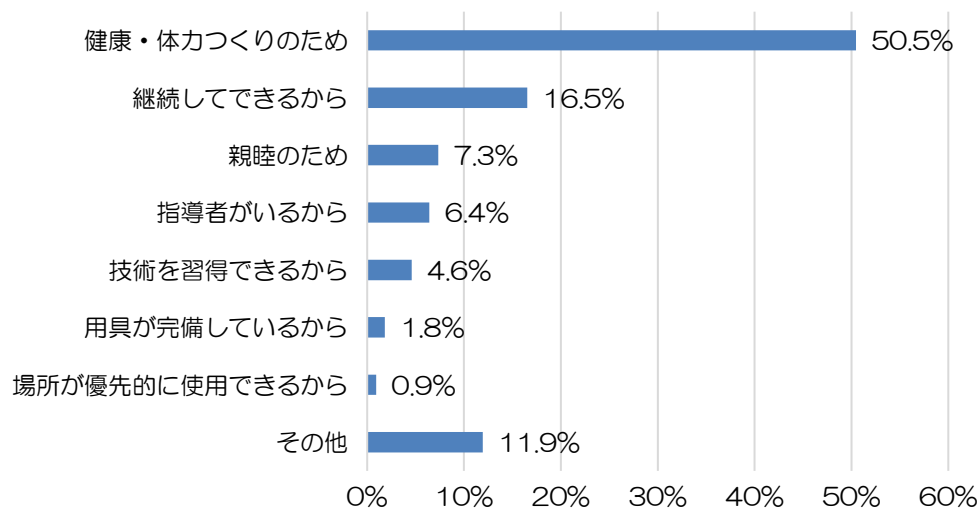
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
健康・体力づくりのため	47.2	54.5	0.0	50.5	52.7	▲2.2
継続してできるから	15.1	16.4	100.0	16.5	13.3	3.2
親睦のため	15.1	0.0	0.0	7.3	9.6	▲2.3
指導者がいるから	0.0	12.7	0.0	6.4	8.0	▲1.6
技術を習得できるから	7.5	1.8	0.0	4.6	5.3	▲0.7
用具が完備しているから	0.0	3.6	0.0	1.8	5.3	▲3.5
場所が優先的に使用できるから	1.9	0.0	0.0	0.9	1.6	▲0.7
その他	13.2	10.9	0.0	11.9	4.3	7.6

・「健康・体力づくりのため」と答えた者の割合が50.5%、「継続してできるから」と答えた者の割合が16.5%、以下、「親睦のため」（7.3%）などが上位となっている。

●前回との比較

「継続してできるから」と答えた者の割合が増加、それ以外の項目を答えた者の割合が減少している。

スポーツクラブ・教室に加入した動機



【2. 加入していない を選んだ方にお聞きします。】

④ 自分の好きなスポーツのクラブやスポーツ教室があれば加入したいですか。

(回答数 791)

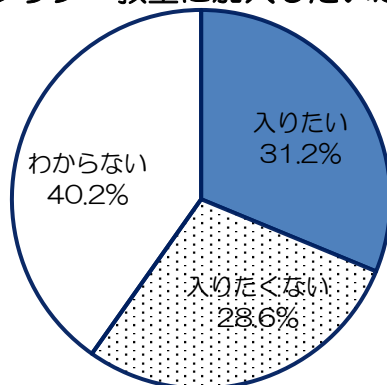
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
入りたい	32.1	30.6	33.3	31.2	31.7	▲0.5
入りたくない	29.4	28.1	0.0	28.6	30.8	▲2.2
わからない	38.5	41.3	66.7	40.2	37.4	2.8

・「入りたい」と答えた者の割合が31.2%、「入りたくない」と答えた者の割合が28.6%、「わからない」と答えた者の割合が40.2%となっている。

●前回との比較

「入りたい」と答えた者の割合が0.5%減少、「入りたくない」と答えた者の割合が2.2%減少、「わからない」と答えた者の割合が2.8%増加している。

スポーツクラブ・教室に加入したいか



⑤ 加入したいクラブやグループの形態はどれですか。（回答数 659）

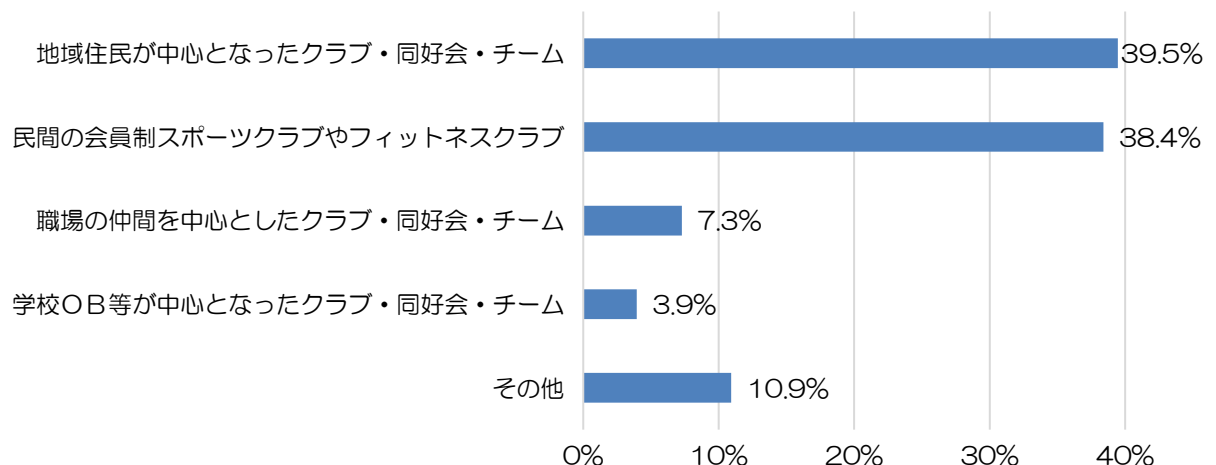
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム	42.0	37.3	66.7	39.5	33.1	6.4
民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ	32.2	43.5	0.0	38.4	41.3	▲2.9
職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・チーム	9.8	5.1	33.3	7.3	8.2	▲0.9
学校 OB 等が中心となったクラブ・同好会・チーム	4.9	3.2	0.0	3.9	4.7	▲0.8
その他	11.2	10.8	0.0	10.9	12.8	▲1.9

・「地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム」と答えた者の割合が 39.5%、「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」と答えた者の割合が 38.4%、以下、「職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・チーム」（7.3%）、「学校 OB 等が中心となったクラブ・同好会・チーム」（3.9%）などが上位となっている。

●前回との比較

「地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム」と答えた者の割合が増加、「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」、「職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・チーム」、「学校 OB 等が中心となったクラブ・同好会・チーム」と答えた者の割合が減少している。

加入したいスポーツクラブ・教室の形態



⑤ー1 加入したいクラブやグループの形態の年代別割合（回答数 659）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代以上 (%)
地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム	35.7	33.3	28.6	21.1	32.2	27.9	51.7	59.8	60.0	66.7
民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ	17.9	8.3	38.8	59.2	47.9	50.8	30.5	23.2	20.0	0.0
職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・チーム	7.1	33.3	16.3	7.0	8.3	9.8	5.9	0.0	0.0	0.0
学校 OB 等が中心となったクラブ・同好会・チーム	35.7	16.7	6.1	4.2	4.1	0.0	1.7	0.9	0.0	0.0
その他	3.6	8.3	10.2	8.5	7.4	11.5	10.2	16.1	20.0	33.3

◆年代別比較

20代から50代では「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」、60代以上では「地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム」の割合が高くなっている。

問12 総合型地域スポーツクラブを知っていますか。（回答数 968）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
知っている（加入している）	5.4	4.8	0.0	5.1	15.3	5.3
知っている（加入していない）	17.0	14.2	25.0	15.5		
知らない	77.5	81.0	75.0	79.4	84.7	▲5.3

・「知っている（加入している）」と答えた者の割合が5.1%、「知っている（加入していない）」と答えた者の割合が15.5%、「知らない」と答えた者の割合が79.4%となっている。

●前回との比較

「知っている」と答えた者の割合が5.3%増加している。

Ⅳ. スポーツ観戦の状況について

問13 あなたは、この1年間にテレビ観戦を含むスポーツの試合を、どの程度観戦しましたか。

（回答数 977）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
週1回以上	43.3	20.5	25	30.5	34.8	▲4.3
月1回程度	23.7	19.4	25	21.3	22.5	▲1.2
年数回程度	24.4	45.8	25	36.3	28.3	8.0
まったく見ない	8.7	14.3	25	11.9	14.4	▲2.5

・「年数回程度」と答えた者の割合が36.3%、「週1回以上」と答えた者の割合が30.5%、以下、「月1回程度」（21.3%）、「まったく見ない」（11.9%）となっている。

問14 あなたは、本市の地域密着型トップスポーツチームについて、知っていますか。

① （野球）香川オリーブガイナース（回答数 971）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
知っている	88.4	78.3	75	82.7	90.2	▲7.5
知らない	11.6	21.7	25	17.3	9.8	7.5

② （サッカー）カマタマーレ讃岐（回答数 964）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
知っている	92.6	89.3	100.0	90.8	92.4	▲1.6
知らない	7.4	10.7	0.0	9.2	7.6	1.6

③ (バスケットボール) 香川ファイブアローズ (回答数 965)

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
知っている	87.0	82.2	100.0	84.4	81.0	3.4
知らない	13.0	17.8	0.0	15.6	19.0	▲3.4

④ (アイスホッケー) 香川アイスフェローズ (回答数 958)

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
知っている	35.6	23.5	0.0	28.7	33.1	▲4.4
知らない	64.4	76.5	100.0	71.3	66.9	4.4

問15 あなたは、この1年間に、地域密着型トップスポーツチームの試合観戦のため会場に行きましたか。(回答数 944)

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
行った	9.3	3.0	0.0	5.7	10.4	▲4.7
行かなかった	90.7	97.0	100.0	94.3	89.6	4.7

【1. 行った を選んだ方にお聞きします。】

あなたは観戦したことのあるチームは何ですか。また、1年間で何回観戦しましたか。
(回答数 76)

項 目	男性 (回/人)	女性 (回/人)	合計 (回/人)	H27 (回/人)	差異 (回/人)
香川オリーブガイナース	0.7	0.7	0.7	2.2	▲1.5
カマタマーレ讃岐	1.0	1.0	1.0	2.5	▲1.5
香川ファイブアローズ	1.5	1.5	1.5	0.7	0.8
香川アイスフェローズ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0

【2. 行かなかった を選んだ方にお聞きします。】

観戦に行かなかった理由は何ですか。(回答数 869)

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	H27 (%)	差異 (%)
特に理由はない	49.5	45.6	33.3	47.2	39.0	8.2
スポーツが好きでない	9.6	21.7	33.3	16.7	17.0	▲0.3
機会・情報がない	12.9	9.2	33.3	10.8	7.8	3.0
忙しかった	12.4	8.6	0.0	10.1	15.6	▲5.5
チケット代がかかる	4.1	3.4	0.0	3.7	4.4	▲0.7
開催場所が遠い	3.3	2.8	0.0	3.0	7.6	▲4.6
交通手段がない	2.2	3.4	0.0	2.9	1.6	1.3
仲間がいない	2.2	2.6	0.0	2.4	3.3	▲0.9
その他	3.8	2.8	0.0	3.2	3.7	▲0.5

V. スポーツに関するボランティア活動について

問 16 今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。

(回答数 973)

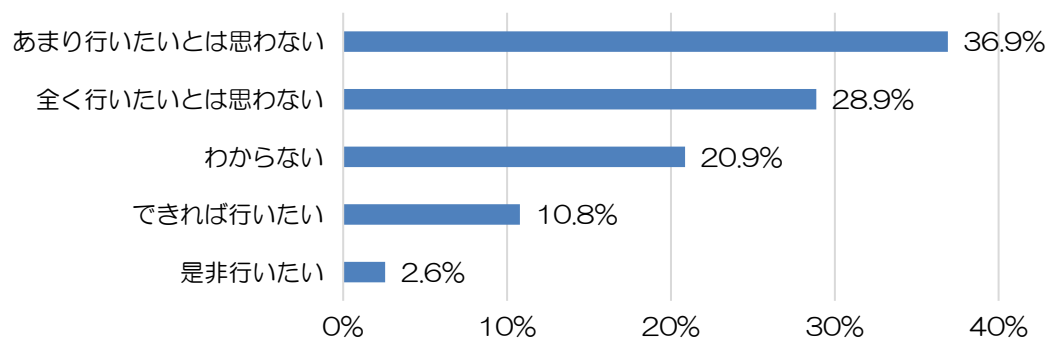
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
あまり行いたいとは思わない	37.3	36.6	25.0	36.9	38.2	▲1.3
全く行いたいとは思わない	27.7	30.0	0.0	28.9	24.6	4.3
わからない	17.4	23.6	25.0	20.9	19.8	1.1
できれば行いたい	13.4	8.5	50.0	10.8	15.3	▲4.5
是非行いたい	4.2	1.3	0.0	2.6	2.1	0.5

・「行いたいとは思わない」と答えた者の割合が 65.8%（「あまり行いたいとは思わない」36.9%、「全く行いたいとは思わない」28.9%）、「行いたい」と答えた者の割合が 13.4%（「できれば行いたい」10.8%、「是非行いたい」2.6%）となっている。

●前回との比較

「行いたいと思わない」と答えた者の割合が 4.0%増加、「行いたい」と答えた者の割合が 3.0%減少している。

スポーツに関するボランティア活動を行いたいか



問 17 スポーツに関するボランティア活動に参加しやすくなるために、主にどのようなことが重要だと思いますか。（回答数 928）

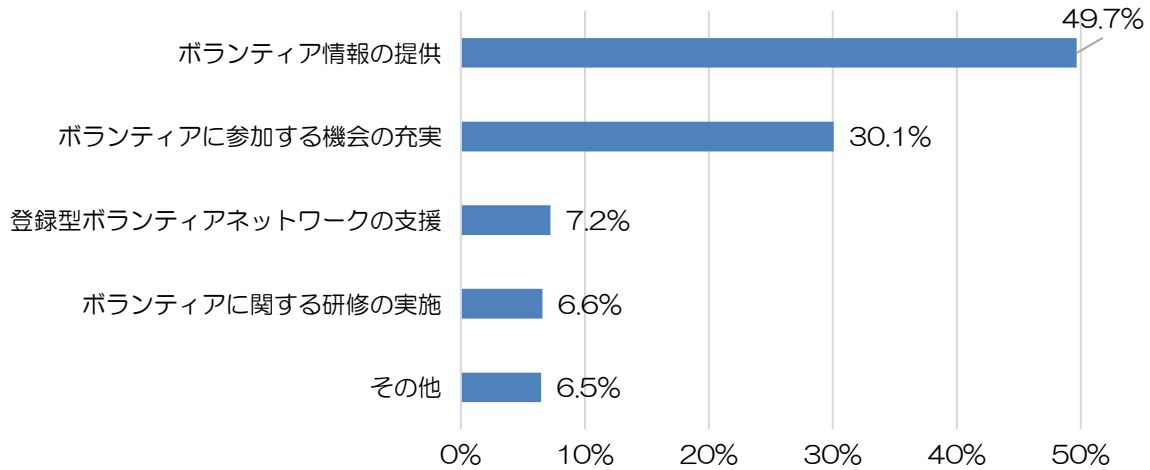
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
ボランティア情報の提供	44.7	53.7	50.0	49.7	51.1	▲1.4
ボランティアに参加する機会の充実	35.4	25.6	50.0	30.1	29.2	0.9
登録型ボランティアネットワークの支援	6.8	7.6	0.0	7.2	7.6	▲0.4
ボランティアに関する研修の実施	6.6	6.6	0.0	6.6	7.2	▲0.6
その他	6.6	6.4	0.0	6.5	4.9	1.6

・「ボランティア情報の提供」と答えた者の割合が 49.7%、以下、「ボランティアに参加する機会の充実」（30.1%）「登録型ボランティアネットワークの支援」（7.2%）などが上位となっている。

●前回との比較

「ボランティアに参加する機会の充実」と答えた者の割合が 0.9%増加、「ボランティア情報の提供」と答えた者の割合が 1.4%減少している。

スポーツに関するボランティア活動促進のための重要項目



問 18 TASVO（高松市スポーツボランティア）を知っていますか。

TASVO とは 高松市や（公財）高松市スポーツ協会が主催・共催するスポーツイベント・競技大会のお手伝いをしていただける「高松市スポーツボランティア」のことです。

（回答数 975）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)
知っている	3.8	1.8	25.0	2.8
知らない	96.2	98.2	75.0	97.2

Ⅵ. スポーツ行事等について

問 19 高松市が実施するスポーツイベントや、地域密着型トップスポーツチーム（香川オリーブガイナース・カマタマーレ讃岐・香川ファイブアローズ・香川アイスフェローズ）等に関する情報を、主にどのような方法で得ていますか。（回答数 962）

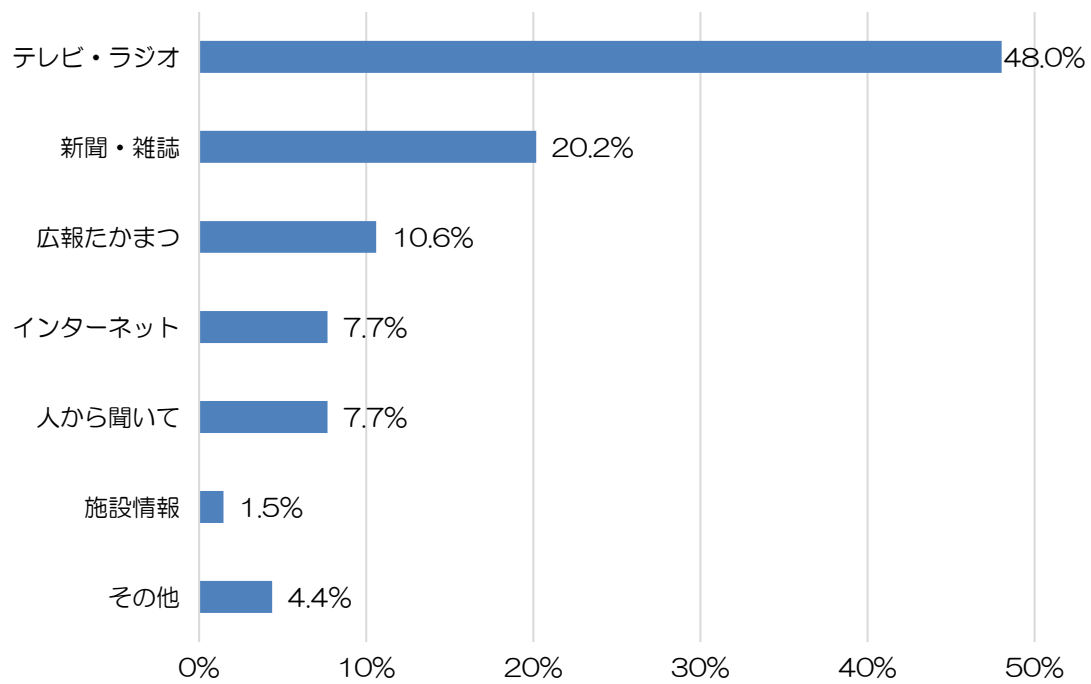
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
テレビ・ラジオ	44.6	50.7	50.0	48.0	40.3	7.7
新聞・雑誌	25.7	15.9	0.0	20.2	25.2	▲5.0
広報たかまつ	6.1	13.9	50.0	10.6	14.8	▲4.2
人から聞いて	8.3	7.3	0.0	7.7	7.7	0.0
インターネット	10.8	5.2	0.0	7.7	6.2	1.5
施設情報	1.4	1.5	0.0	1.5	0.6	0.9
その他	3.1	5.4	0.0	4.4	5.2	▲0.8

・「テレビ・ラジオ」と答えた者の割合が 48.0%、「新聞・雑誌」と答えた者の割合が 20.2%と高くなっている。

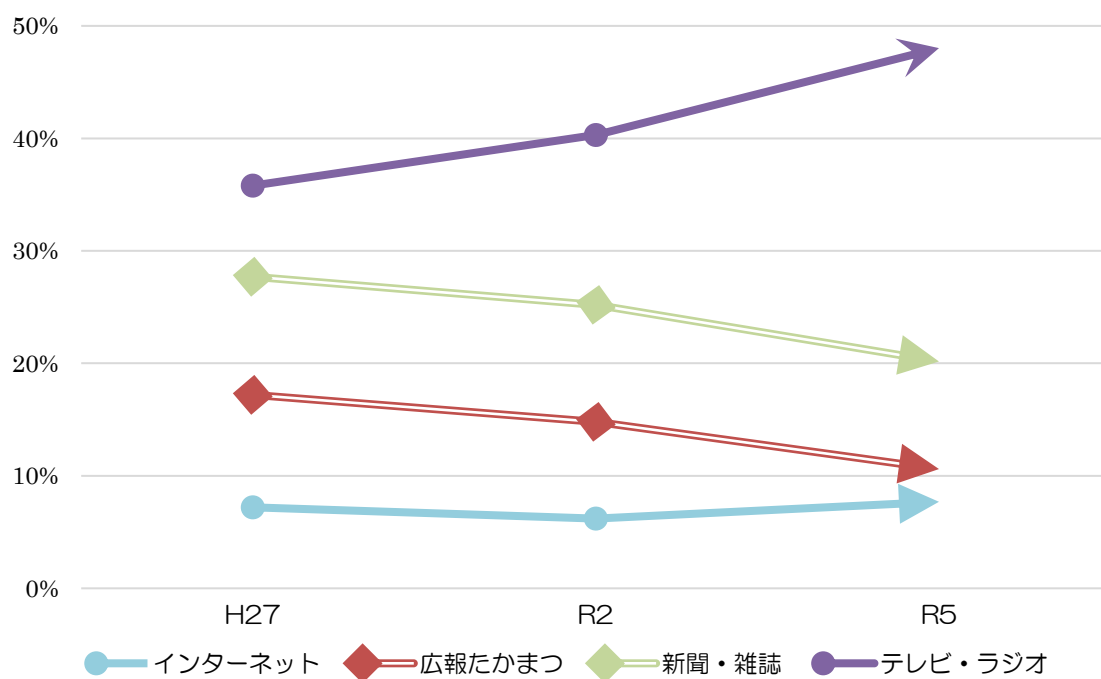
●前回との比較

「テレビ・ラジオ」と答えた者の割合が 7.7%増加し、「新聞・雑誌」と答えた者の割合が 5.0%減少、「広報たかまつ」と答えた者の割合が 4.2%減少していることが大きな変化となっている。

高松市が実施するスポーツイベント等に関する情報を得る方法



情報を得る方法の推移（上位4項目）



問 19-1 スポーツに関する情報の取得方法の年代別割合（回答数 962）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
テレビ・ラジオ	23.5	46.7	38.5	38.4	42.2	45.3	50.3	61.3	63.1	28.6
新聞・雑誌	17.6	6.7	12.3	12.8	14.9	18.0	26.0	25.1	23.1	50.0
広報たかまつ	8.8	20.0	4.6	17.4	9.1	10.6	9.6	11.5	9.2	14.3
人から聞いて	26.5	20.0	21.5	12.8	7.8	6.2	6.2	1.0	1.5	7.1
インターネット	8.8	6.7	15.4	7.0	11.0	14.3	6.8	1.0	0.0	0.0
施設情報	5.9	0.0	4.6	4.7	2.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.8	0.0	3.1	7.0	12.3	5.0	1.1	0.0	3.1	0.0

◆年代別比較

10代（18歳以上）から80代の年代で「テレビ・ラジオ」の割合が最も高く、年代が高くなるにつれて「新聞・雑誌」の割合が高くなっている。

問 20 次のスポーツ・レクリエーションイベントを知っていますか。

項 目 (回答数)	男性 (%)		女性 (%)		その他 (%)		合計 (%)		R2 (%)		差異 (%)	
	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない
①高松スポーツカーニバル (970)	11.6	88.4	13.5	86.5	25.0	75.0	12.7	87.3	16.7	83.3	▲4.0	4.0
②トリムの祭典 (969)	16.5	83.5	26.0	74.0	50.0	50.0	22.0	78.0	25.5	74.5	▲3.5	3.5
③高松ファミリー&クォーターマラソン in AJI (971)	11.8	88.2	14.9	85.1	50.0	50.0	13.7	86.3	17.8	82.2	▲4.1	4.1
④高松スポーツ・健康感謝祭 (969)	2.8	97.2	6.7	93.3	50.0	50.0	5.2	94.8	7.0	93.0	▲1.8	1.8

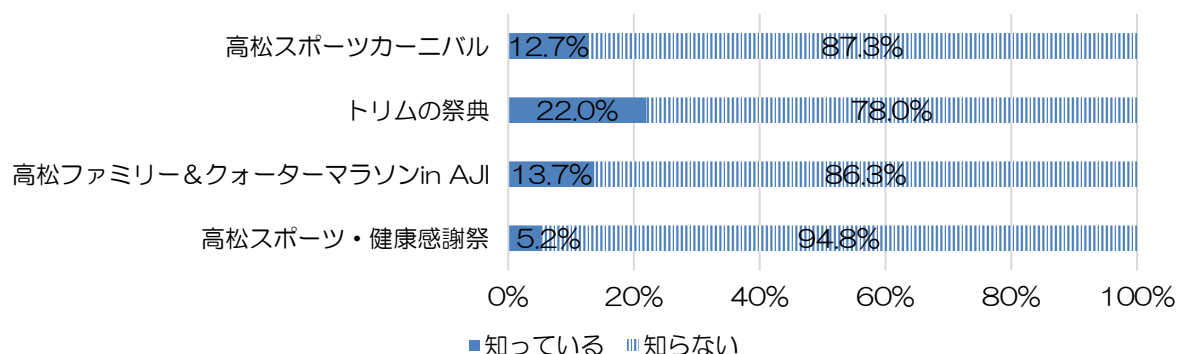
・全体として、「知らない」と答えた者の割合が高い。

・「トリムの祭典」の認知度が22.0%と最も高くなっている。

●前回との比較

すべてのスポーツ・レクリエーションイベントの認知度が減少している。

スポーツ・レクリエーションイベントの認知度

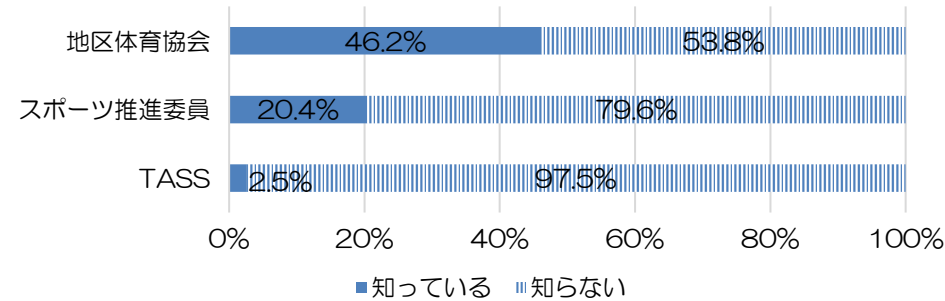


TASS とは、各種目を専門的に技術指導ができる指導者の登録制度のことで、幼・小・中学校の保健体育授業や部活動、市内の体育施設等でのスポーツ教室、コミュニティセンター等での健康づくり教室等に、登録された指導者を派遣し、技術指導を行っています。

項 目 (回答数)	男性 (%)		女性 (%)		その他 (%)		合計 (%)		R2 (%)		差異 (%)	
	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない
地区体育協会 (978)	45.6	54.4	46.7	53.3	50.0	50.0	46.2	53.8	50.0	50.0	▲3.8	3.8
スポーツ推進委員 (978)	19.1	80.9	21.5	78.5	25.0	75.0	20.4	79.6	27.7	72.3	▲7.3	7.3
TASS (高松市アドバイザースポーツシステム) (976)	1.6	98.4	2.9	97.1	25.0	75.0	2.5	97.5	—	—	—	—

・「地区体育協会」を知っていると答えた者の割合が 46.2%、「スポーツ推進委員」を知っていると答えた者の割合が 20.4%、「TASS (高松市アドバイザースポーツシステム)」を知っていると答えた者の割合が 2.5%であった。

地区体育協会・スポーツ推進委員・TASSの認知度



[数値目標項目]

項 目	計画策定時 (H27)	目標値 (R5)	前回実績 (R2)	今回実績 (R5)
スポーツ推進委員の 認知度 (%)	20.1	35.0	27.7	20.4

●前回との比較

スポーツ推進委員を「知っている」と答えた者の割合が7.3%減少となっている。

問 24 今後、参加してみたいスポーツイベントはありますか。（回答数1， 416）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
初心者を対象としたスポーツ教室・イベント	19.5	27.8	0.0	24.0	25.9	▲1.9
多くの種目が体験できる大会・イベント	13.2	14.8	0.0	14.1	16.6	▲2.5
有名スポーツ選手等を招いて行う講演や教室・イベント	14.0	10.9	0.0	12.3	12.5	▲0.2
勝敗を主な目的としない大会・イベント	11.6	10.0	0.0	10.8	11.0	▲0.2
勝敗を主な目的とする大会・イベント	8.0	2.9	0.0	5.2	5.5	▲0.3
競技力の向上を目指した専門的な教室	6.6	3.4	0.0	4.9	5.2	▲0.3
特にない	26.4	29.3	0.0	27.9	22.6	5.3
その他	0.6	1.0	0.0	0.8	0.7	0.1

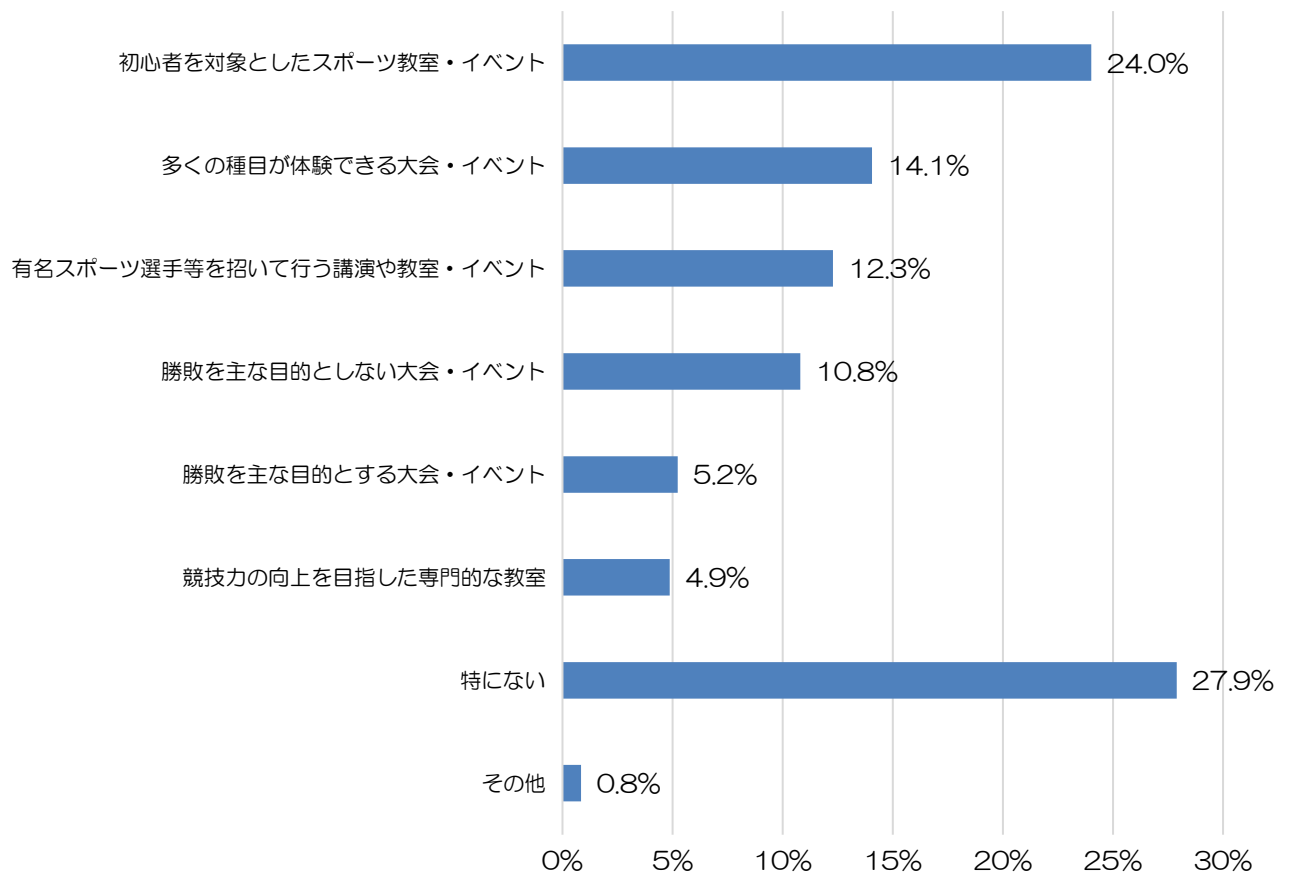
・「初心者を対象としたスポーツ教室・イベント」と答えた者の割合が24.0%、「多くの種目が体験できる大会・イベント」と答えた者の割合が14.1%、以下、「有名スポーツ選手等を招いて行う講演や教室・イベント」

（12.3%）、「勝敗を主な目的としない大会・イベント」（10.8%）などが上位となっている。

●前回との比較

「特にない」、「その他」と答えた者の割合が増加。それら以外の項目を答えた者の割合が減少となっている。

今後、参加してみたいスポーツイベント



問 24-1 今後、参加してみたいスポーツイベントの年代別割合（回答数 1, 416）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代以上 (%)
初心者を対象としたスポーツ 教室・イベント	11.5	8.0	21.2	27.9	22.7	24.9	29.9	23.4	22.5	0.0
多くの種目が体験できる 大会・イベント	15.4	8.0	18.6	16.9	14.7	11.8	17.4	10.7	10.0	0.0
有名スポーツ選手等を招いて行 う講演や教室・イベント	15.4	12.0	11.0	14.0	15.5	16.0	12.5	7.5	5.0	0.0
勝敗を主な目的としない 大会・イベント	21.2	8.0	17.8	8.1	10.1	9.3	10.6	9.9	11.3	0.0
勝敗を主な目的とする大会 ・イベント	9.6	16.0	7.6	8.1	6.7	5.9	3.0	2.4	1.3	0.0
競技力の向上を目指した 専門的な教室	5.8	12.0	3.4	5.9	9.2	5.1	3.0	3.6	0.0	0.0
特にない	21.2	36.0	18.6	19.1	21.0	26.2	23.5	40.1	48.8	92.9
その他	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.8	0.0	2.4	1.3	7.1

◆年代別比較

20代から80代では「初心者を対象としたスポーツ教室・イベント」、10代、50代及び70代以上では「特にない」の割合が高くなっている。

問 25 パラスポーツを知っていますか。（回答数 966）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)
知っている	75.5	82.3	75.0	79.3
知らない	24.5	17.7	25.0	20.7

【問 25 で「1. 知っている」を選んだ方にお聞きします。】

①これまで一度でもパラスポーツを体験したことがありますか。（回答数 759）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)
はい	12.9	10	33.3	11.3
いいえ	87.1	90	66.7	88.7

問 26 高松市において、障がいのある人がスポーツを実施しやすい環境をつくるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。（回答数 936）

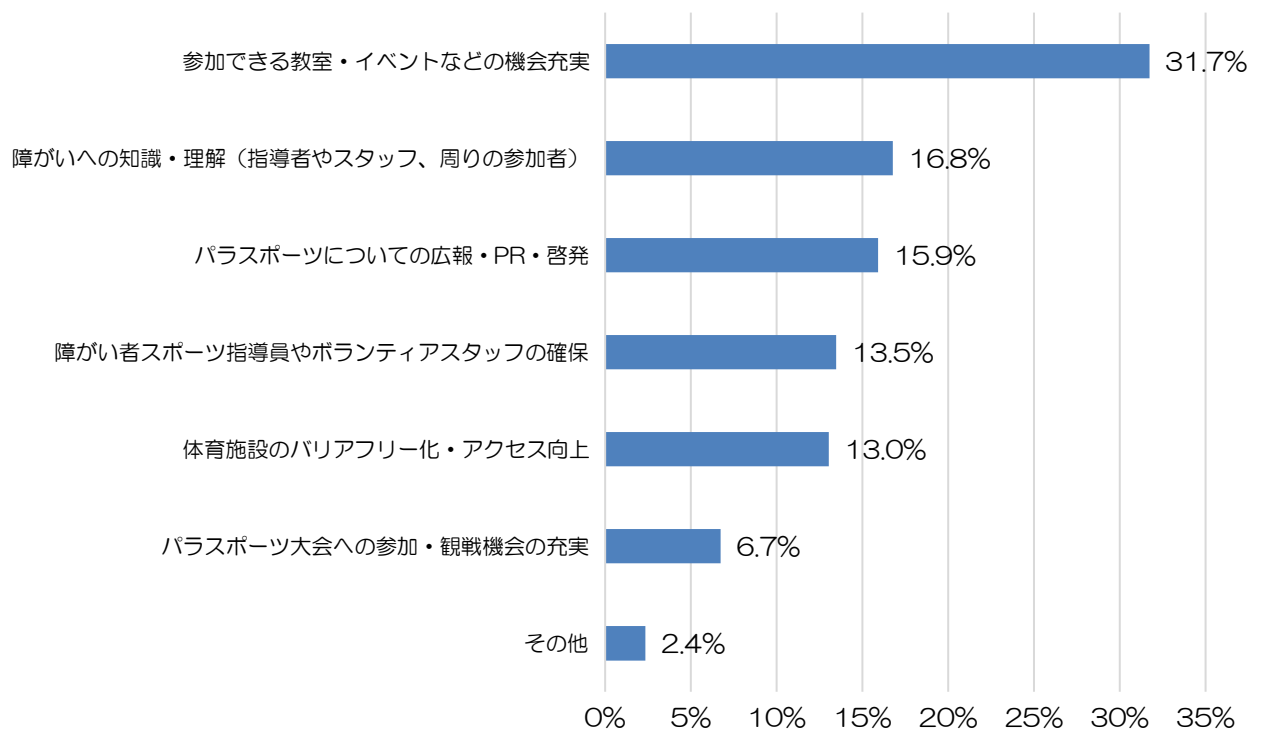
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)
参加できる教室・イベントなどの機会充実	31.7	31.8	25.0	31.7
障がいへの知識・理解（指導者やスタッフ、周りの参加者）	17.5	16.1	25.0	16.8
パラスポーツについての広報・PR・啓発	17.5	14.7	0.0	15.9
障がい者スポーツ指導員やボランティアスタッフの確保	11.8	14.7	25.0	13.5
体育施設のバリアフリー化・アクセス向上	11.1	14.5	25.0	13.0
パラスポーツ大会への参加・観戦機会の充実	7.5	6.2	0.0	6.7
その他	2.9	1.9	0.0	2.4

・「参加できる教室・イベントなどの機会充実」と答えた者の割合が 31.7%、「障がいへの知識・理解（指導者やスタッフ、周りの参加者）」と答えた者の割合が 16.8%、以下、「パラスポーツについての広報・PR・啓発」

（15.9%）、「障がい者スポーツ指導員やボランティアスタッフの確保」（13.5%）などが上位となっている。

・問 5 で、「障がいがある（障害者手帳を持っている）」及び「障がいがある（障害者手帳を持っていない）」と答えた者が、回答した項目は、「参加できる教室・イベントなどの機会充実」（23.4%）、「障がいへの知識・理解（指導者やスタッフ、周りの参加者）」（20.3%）などが上位となっている。

障がいのある人がスポーツを実施しやすい環境をつくるために必要な取り組み



Ⅶ. スポーツ施設について

問 27 高松市が設置しているスポーツ施設を利用したことがありますか。

(回答数 959)

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
利用したことがある	42.7	32.6	75.0	37.2	39.0	▲1.8
利用したことがない	57.3	67.4	25.0	62.8	61.0	1.8

問 27-1 スポーツ施設を利用した人の年代別割合 (回答数 959)

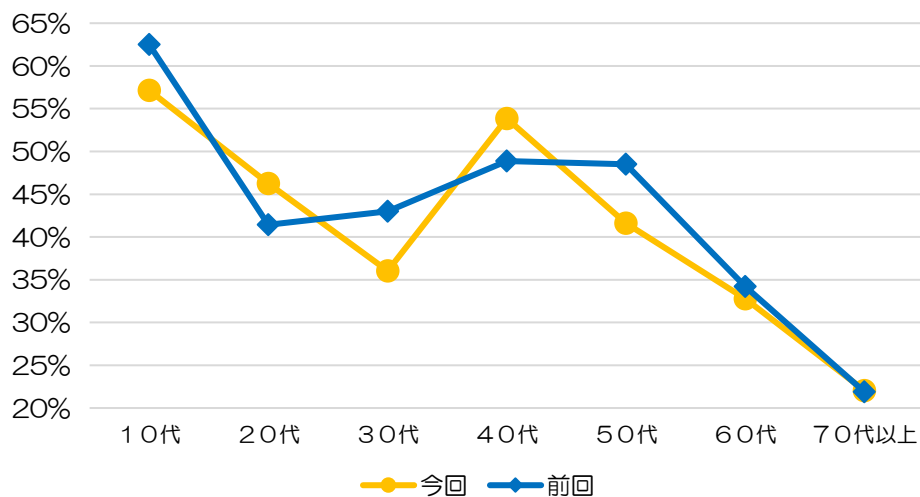
項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
利用したことがある	63.6	43.8	46.3	36.0	53.8	41.6	32.8	23.7	20.3	7.1

・「利用したことがある」と答えた者の割合が37.2%、「利用したことがない」と答えた者の割合が62.8%となっている。

●前回との比較

「利用したことがある」と答えた者の割合が1.8%減少となっている。

スポーツ施設を利用した人の年代別割合 (前回との比較)



◆年代別比較

10代の利用率が最も高く、50代から減少傾向にある。

【1. 利用した を選んだ方にお聞きます。】

① 利用回数はどのくらいですか。（回答数 351）

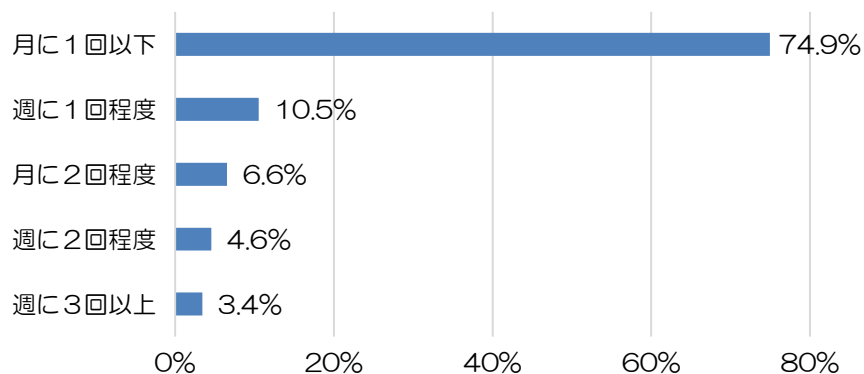
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
週に3回以上	5.1	1.8	0.0	3.4	4.9	▲1.5
週に2回程度	4.0	5.3	0.0	4.6	7.0	▲2.4
週に1回程度	9.6	11.7	0.0	10.5	14.5	▲4.0
月に2回程度	6.8	6.4	0.0	6.6	8.3	▲1.7
月に1回以下	74.6	74.9	100.0	74.9	65.4	9.5

・「月に1回以下」と答えた者の割合が74.9%、「週に1回程度」と答えた者の割合が10.5%、「月に2回程度」と答えた者の割合が6.6%、「週に2回程度」と答えた者の割合が4.6%、「週に3回以上」と答えた者の割合が3.4%となっている。

●前回との比較

「月に1回以下」と答えた者の割合が9.5%増加、その他の項目を答えた者の割合が減少している。

スポーツ施設の利用回数



② その施設を利用する理由は、主に何ですか。（回答数 345）

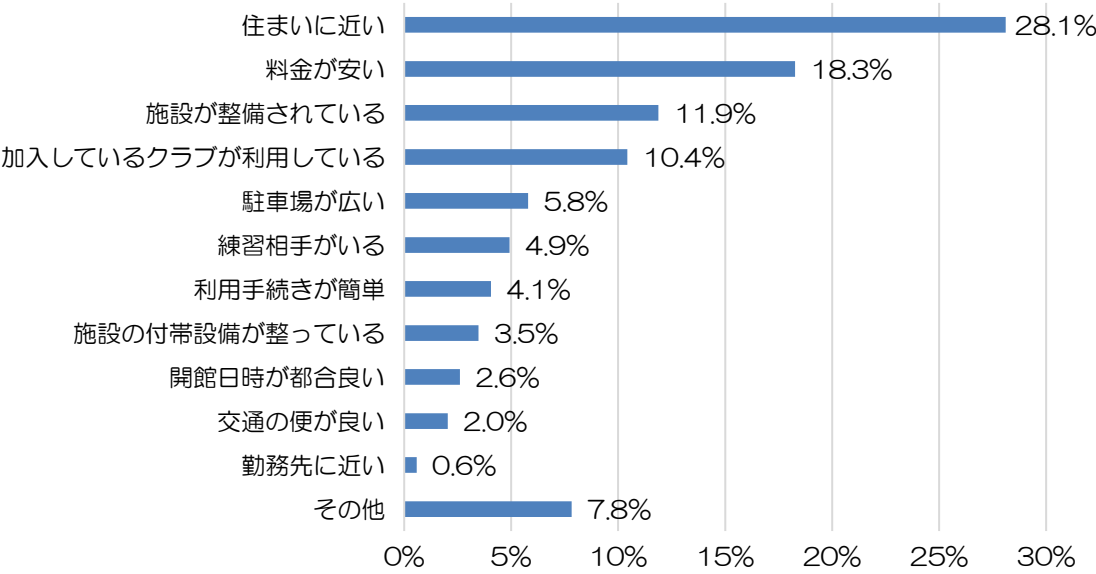
項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
住まいに近い	26.1	30.1	33.3	28.1	31.4	▲3.3
料金が安い	17.6	19.3	0.0	18.3	22.5	▲4.2
施設が整備されている	13.6	10.2	0.0	11.9	10.2	1.7
加入しているクラブが利用している	10.2	10.2	33.3	10.4	9.2	1.2
駐車場が広い	7.4	4.2	0.0	5.8	3.4	2.4
練習相手がいる	6.8	3.0	0.0	4.9	5.8	▲0.9
利用手続きが簡単	4.5	3.6	0.0	4.1	4.7	▲0.6
施設の付帯設備が整っている	4.5	2.4	0.0	3.5	2.6	0.9
開館日時が都合良い	2.3	3.0	0.0	2.6	1.3	1.3
交通の便が良い	1.1	3.0	0.0	2.0	1.3	0.7
勤務先に近い	0.6	0.6	0.0	0.6	2.4	▲1.8
その他	5.1	10.2	33.3	7.8	5.2	2.6

・「住まいに近い」と答えた者の割合が28.1%、「料金が安い」と答えた者の割合が18.3%、以下、「施設が整備されている」（11.9%）、「加入しているクラブが利用している」（10.4%）などが上位となっている。

●前回との比較

「駐車場が広い」、「施設が整備されている」と答えた者の割合が増加、「料金が安い」、「住まいに近い」と答えた者の割合が減少している。

スポーツ施設を利用する理由



問 28・29 学校開放の認知度

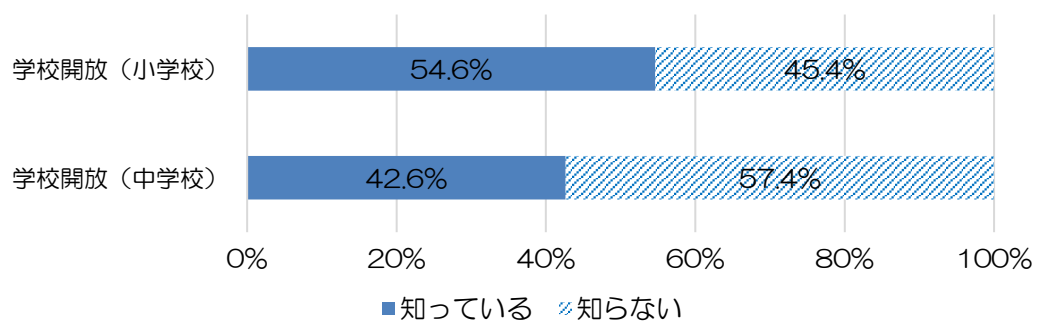
項 目 (回答数)	男性 (%)		女性 (%)		その他 (%)		合計 (%)		R2 (%)		差異 (%)	
	知って いる	知ら ない	知って いる	知ら ない	知って いる	知ら ない	知って いる	知ら ない	知って いる	知ら ない	知って いる	知ら ない
小学校の体育館や グラウンドの開放 (970)	51.3	48.7	57.1	42.9	75.0	25.0	54.6	45.4	56.5	43.5	▲1.9	1.9
中学校の体育館やグ ラウンドの夜間開放 (971)	39.5	60.5	44.9	55.1	75.0	25.0	42.6	57.4	44.7	55.3	▲2.1	2.1

・「小学校の体育館やグラウンドの開放」を知っていると答えた者の割合が54.6%、「中学校の体育館やグラウンドの夜間開放」を知っていると答えた者の割合が42.6%であった。

●前回との比較

「小学校の体育館やグラウンドの開放」を知っていると答えた者の割合が1.9%減少、「中学校の体育館やグラウンドの夜間開放」を知っていると答えた者の割合が2.1%減少している。

学校開放の認知度



問 28・29－2 学校開放の認知度の年代別割合

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
小学校の体育館や グラウンドの開放	76.5	68.8	48.5	46.5	54.5	50.9	62.1	55.4	46.2	42.9
中学校の体育館やグ ラウンドの夜間開放	63.6	56.3	41.2	37.2	44.2	40.4	48.9	38.7	37.5	26.7

◆年代別比較

10代の認知度が最も高い結果となった。

Ⅷ. 高松市スポーツ推進計画について

問 30 「高松市スポーツ推進計画」を知っていますか。（回答数 973）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
知っている	6.1	6.3	25.0	6.3	8.2	▲1.9
知らない	93.9	93.7	75.0	93.7	91.8	1.9

・「知っている」と答えた者の割合が6.3%、「知らない」と答えた者の割合が93.7%となった。

●前回との比較

「知っている」と答えた者の割合が1.9%減少している。

問 31 高松市のスポーツ活動推進のため、今後10年間の重点課題（回答数 2,805）

項 目	男性 (%)	女性 (%)	その他 (%)	合計 (%)	R2 (%)	差異 (%)
スポーツ施設の充実	17.1	16.5	16.7	16.7	14.1	2.6
健康増進と体力づくりの推進	11.5	13.9	16.7	12.9	16.9	▲4.0
子どもの体力向上	9.6	11.3	16.7	10.6	13.7	▲3.1
スポーツイベントの拡大	9.4	8.4	8.3	8.8	7.4	1.4
スポーツ指導者の養成	8.8	8.5	0.0	8.6	7.5	1.1
スポーツ情報ネットワークの整備	8.6	6.7	8.3	7.6	7.5	0.1
スポーツ広報の充実	5.9	7.0	8.3	6.5	6.7	▲0.2
スポーツ補助金の増大	6.4	5.5	0.0	5.9	4.1	1.8
地域におけるスポーツの支援	5.0	6.0	0.0	5.5	6.9	▲1.4
スポーツにおける地方創生、まちづくり	5.2	4.6	8.3	4.9	—	—
中学校部活動の地域移行	2.9	2.1	0.0	2.5	—	—
パラスポーツの推進	1.4	2.6	8.3	2.1	3.4	▲1.3
地域密着型トップスポーツチームの支援	2.4	2.0	0.0	2.1	2.6	▲0.5
スポーツ指導者派遣の充実	1.6	2.2	0.0	1.9	1.4	0.5
競技力向上の促進	1.4	1.1	8.3	1.2	2.0	▲0.8
スポーツ講演会の充実	1.5	0.6	0.0	1.0	1.0	0.0
スポーツにおけるデジタル技術の推進	1.1	0.6	0.0	0.8	—	—
その他	0.2	0.6	0.0	0.4	0.6	▲0.2

・「スポーツ施設の充実」と答えた者の割合が16.7%、「健康増進と体力づくりの推進」と答えた者の割合が12.9%、

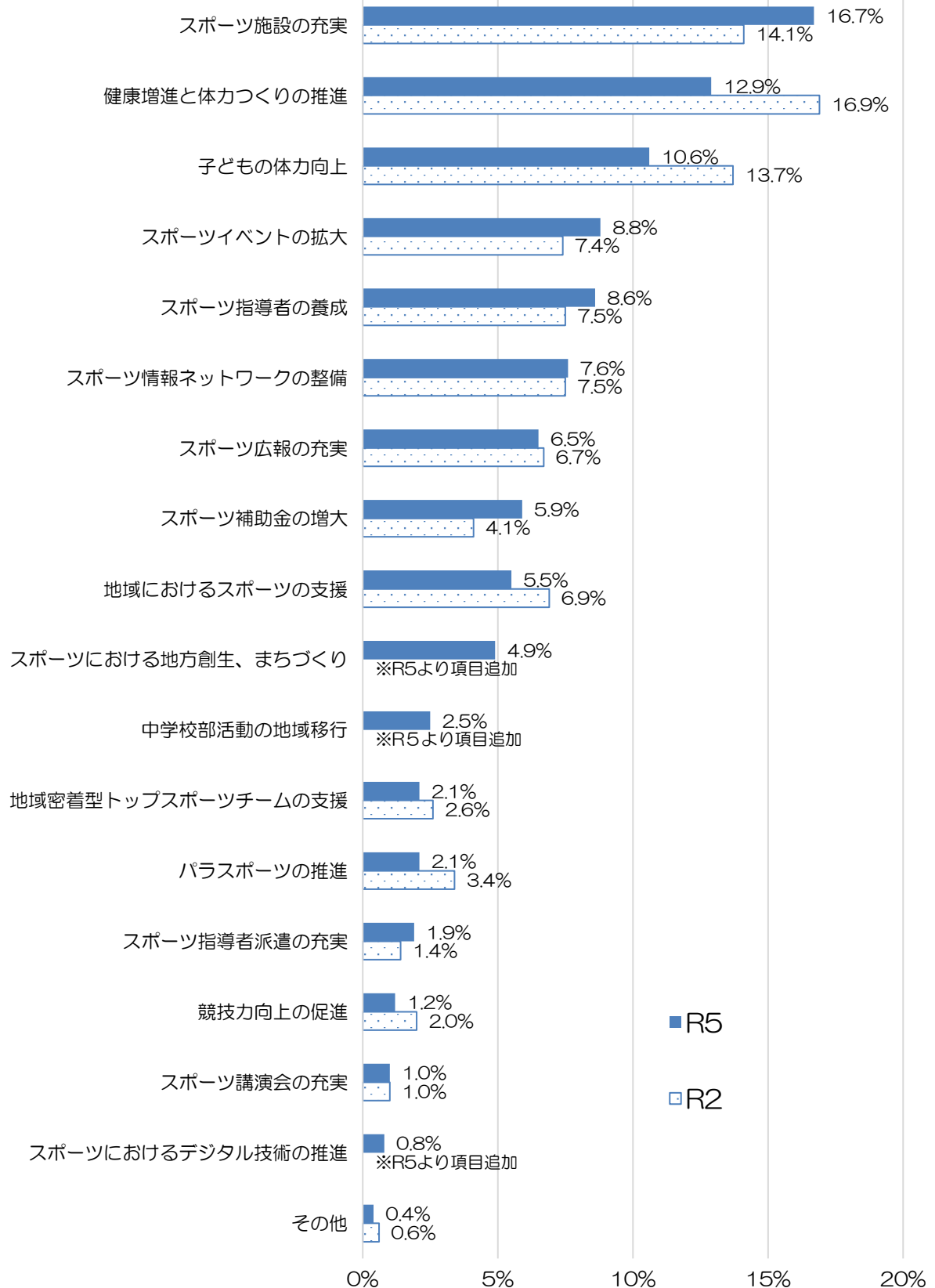
以下、「子どもの体力向上」（10.6%）などが上位となっている。

●前回との比較

「スポーツ施設の充実」と答えた者の割合が2.6%増加、「健康増進と体力づくりの推進」と答えた者が4.0%減少、「子どもの体力向上」と答えた者の割合が3.1%減少となっている。

・問5で、「障がいがある(障害者手帳を持っている)」及び「障がいがある(障害者手帳を持っていない)」と答えた者が、回答した項目は、「健康増進と体力づくりの推進」（16.0%）、「スポーツ施設の充実」（14.4%）、「子どもの体力向上」（9.6%）などが上位となっている。

スポーツ活動推進のための今後10年間の重点課題



問 31-1 スポーツ活動推進のための重点課題の年代別割合（回答数 2, 805）

項 目	10代 (18歳未満) (%)	10代 (18歳以上) (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代 (%)	80代 (%)	90代 以上 (%)
健康増進と体力つくりの推進	24.2	31.3	30.3	27.1	23.7	33.3	48.6	53.6	46.3	50.0
スポーツ施設の充実	51.5	25.0	51.5	47.1	53.2	50.0	54.3	43.2	53.7	58.3
子どもの体力向上	42.4	12.5	21.2	38.8	34.6	25.9	29.7	33.9	35.2	33.3
スポーツ指導者の養成	30.3	12.5	24.2	30.6	25.0	23.5	21.7	27.3	29.6	50.0
スポーツ情報ネットワークの整備	21.2	25.0	27.3	25.9	23.1	23.5	26.3	19.7	7.4	8.3
スポーツイベントの拡大	30.3	50.0	28.8	31.8	34.0	38.9	24.0	10.9	9.3	8.3
地域におけるスポーツの支援	15.2	12.5	9.1	10.6	14.1	16.0	21.1	16.9	24.1	33.3
スポーツ広報の充実	6.1	18.8	22.7	16.5	16.0	16.0	18.9	27.9	20.4	25.0
スポーツ補助金の増大	21.2	6.3	4.5	8.2	9.0	10.5	5.7	3.3	7.4	0.0
パラスポーツの推進	15.2	37.5	25.8	16.5	24.4	15.4	12.0	15.3	18.5	8.3
地域密着型トップスポーツチームの支援	3.0	18.8	9.1	3.5	4.5	3.7	7.4	8.7	3.7	8.3
競技力向上の促進	3.0	0.0	4.5	11.8	13.5	6.8	4.6	2.2	3.7	0.0
スポーツ指導者派遣の充実	18.2	12.5	6.1	2.4	1.9	4.3	1.7	4.4	0.0	0.0
スポーツ講演会の充実	6.1	0.0	7.6	10.6	3.2	4.9	2.3	8.2	9.3	8.3
中学校部活動の地域移行	3.0	0.0	3.0	1.2	0.6	4.9	3.4	3.8	1.9	0.0
スポーツにおけるデジタル技術の推進	3.0	6.3	1.5	4.7	3.8	5.6	0.0	0.5	0.0	0.0
スポーツにおける地方創生、まちづくり	6.1	31.3	18.2	11.8	12.2	14.8	16.0	15.8	13.0	8.3
その他	0.0	0.0	3.0	1.2	1.9	1.2	0.0	1.6	1.9	0.0

◆年代別比較

10代（18歳未満）及び20代から60代まで及び80代以上は「スポーツ施設の充実」、の割合が最も高くなっている。

高松市のスポーツ施設一覧

施設名	竣工年	所在地	施設の概要
高松市総合体育館	昭和61年	高松市福岡町四丁目36番1号	- 第1競技場（2,052㎡）（2階観客席2,002席） バスケットボール2面、バレーボール3面、 バドミントン12面、コンサート等 - 第2競技場（1,008㎡） バスケットボール1面、バレーボール2面、 バドミントン6面、ジャズダンス等 - トレーニング室等 - 第1武道場（447.06㎡）・第2武道場（483.59㎡） - 和弓場（近的10人立）・アーチェリー場（30m5人立）
屋島レクザムフィールド （高松市屋島競技場）	平成29年	高松市屋島中町374番地1	- 主競技場 400mトラック 8レーン （メインスタンド直線部分9レーン） フィールド（天然芝 106m×69m） - 補助競技場 200mトラック 6レーン - 室内競技場 約150m 3レーン（100m直走路 4レーン） 棒高跳走路 2レーン - トレーニング室
せとうちサスティナブル ヨットハーバー （高松市ヨット競技場）	平成30年	高松市浜ノ町67番1号	- 艇庫（63艇）一部高層 - 艇置場（ディンギー縦置き70艇、平置き94艇、クルーザー69艇） - クレーン4.8トン
高松市立朝日町庭球場	昭和45年	高松市朝日町一丁目1番13号	庭球場（砂入人工芝5面）、夜間照明
高松市立亀岡庭球場	昭和33年	高松市亀岡町7番2号	庭球場（砂入人工芝4面）
高松市立仏生山運動場	昭和57年	高松市仏生山町甲2565番地	- 庭球場（クレー2面） - 多目的広場
三祥グラウンド （高松市南部運動場）	平成6年	高松市三谷町3125番地4	- 第1グラウンド（野球場） 右翼88m 左翼95m 中堅120m - 第2グラウンド（多目的広場） 長袖100m 短袖80m
高松市福岡町プール	平成10年	高松市福岡町三丁目33番24号	温水プール（25m×6コース）、補助プール、採暖プール
マイスポスポーツセンター T A R U M I （高松市亀水運動センター）	体育館 （昭和61年） 庭球場 （平成5年） プール （昭和62年） グラウンド （昭和63年）	高松市亀水町458番地1	- 亀水荘（集会室及び浴室） - 体育館（768㎡） バスケットボール1面、バレーボール2面、 バドミントン3面、卓球9台等 - 庭球場（砂入人工芝8面） - プール（25m×8コース） - グラウンド（野球場） 両翼85m 中堅112m
高松市西部運動センター	体育館 （平成4年） グラウンド （昭和61年）	高松市鬼無町鬼無10番地2	- 体育館（1,484㎡） バスケットボール2面、バレーボール2面、 バドミントン8面、卓球24台等 - 第1グラウンド（野球場） 両翼91m 中堅120m - 第2グラウンド（多目的広場） 長袖100m 短袖80m、 夜間照明
高松市かわなベ スポーツセンター	平成2年	高松市川部町932番地7	- かわなべ荘（集会室及び浴室） - 体育館（712㎡） バスケットボール1面、バレーボール2面、 バドミントン4面、卓球10台等 - 温水プール（25m×6コース）、幼児用プール、補助プール - 庭球場（砂入人工芝3面、壁打ち1面）、夜間照明 - ゲートボール2面（屋根付き）
高松市塩江町庭球場	昭和53年	高松市塩江町安原上708番地2	庭球場（砂入人工芝2面）、夜間照明

施設名	竣工年	所在地	施設の概要
高松市内場池運動センター	グラウンド (昭和61年)	高松市塩江町上西乙 688番1地先	・多目的運動場(4,888㎡) 野球、サッカー、ソフトボール、ゲートボール
高松市ホテルと文化の里運動場	平成6年	高松市塩江町安原上 602番地	・多目的運動場 右翼75m 左翼86m 中堅92m 夜間照明 野球、ソフトボール、サッカー、ゲートボール ・野外ステージ 座席500席、芝生席約500人収容 ・ゲートボール場1面
高松市健康増進温浴施設 ー プ し お の え	平成17年	高松市塩江町安原下 第3号2074番地2	・アクティブプール(20m×3コース) ・ウォーキングプール(1周58.5m) ・水中トレーニング器具8基 ・キッズプール、ジャグジー等
高松市牟礼総合体育館	平成3年	高松市牟礼町牟礼 152番地10	・体育館(1,748.84㎡) バスケットボール2面、バレーボール3面、 バドミントン8面、卓球15台 ・トレーニング室
高松市庵治町深間庭球場	平成6年	高松市庵治町6391 番地17	・庭球場(砂入人工芝3面)、夜間照明
高松市庵治運動場	昭和49年	高松市庵治町2290 番地1	・野球場(軟式野球1面、ソフトボール2面)、夜間照明 両翼82m 中堅94m
高松市庵治ゲートボール場	平成2年	高松市庵治町1667 番地1	・ゲートボール場(2,222㎡)、夜間照明
高松市庵治ペタンク場	平成8年	高松市庵治町3836 番地	・ペタンク場(2,299㎡)
高松市香川総合体育館	第1競技場 (昭和63年) 第2競技場 (平成17年)	高松市香川町川東下 1917番地1	・第1競技場(1,620㎡)(2階観客席844席) バスケットボール2面、バレーボール3面、 バドミントン10面、ハンドボール1面、卓球台18台 ・第2競技場(468㎡) バレーボール1面、バドミントン2面、卓球台6台 ・トレーニング室
高松市香川屋外球技場	平成17年	高松市香川町川東下 1928番地1	・ゲートボール2面、ペタンク4面、ハンドボール1面
高松市香川町大野 河川敷運動場	昭和62年	高松市香川町大野 2606番地先	・グラウンド(野球場3面、イベント広場1面)
高松市香南体育館	昭和55年	高松市香南町横井 844番地7	・体育館(800㎡) バスケットボール1面、バレーボール2面、 バドミントン3面、 ・卓球室 ・多目的ルーム
高松市香南庭球場	平成12年	高松市香南町横井 1000番地	・庭球場(砂入人工芝4面、壁打ち1面)、夜間照明
高松市香南町吉光 河川敷運動場	平成6年	高松市香南町吉光 735番地先	・グラウンド(サッカー場)
高松市国分寺勤労 青少年ホーム	昭和58年	高松市国分寺町福家甲 3005番地	・体育室(303.7㎡) バレーボール1面、バドミントン1面
高松市立仏生山公園 体育館 温水プール	体育館 (平成4年) 温水プール (平成7年)	高松市仏生山町甲 2654番地1	・体育館(1,089㎡) バスケットボール2面、バレーボール2面、 バドミントン6面、卓球15台等 ・温水プール(25m×7コース)、補助プール、採暖プール
高松市牟礼御山公園 庭球場	平成2年	高松市牟礼町牟礼 1355番地1	・庭球場(砂入人工芝2面)、夜間照明
高松市牟礼中央公園 運動センター	グラウンド (昭和54年) 体育館 (昭和56年) 庭球場 (昭和58年)	高松市牟礼町原 1019番地8	・グラウンド(野球場)両翼89m 中堅109m、夜間照明 ・体育館(952㎡) バスケットボール1面、バレーボール2面、 バドミントン3面 ・庭球場(砂入人工芝2面)、夜間照明

施 設 名	竣 工 年	所 在 地	施 設 の 概 要
高松市国分寺橋ノ丘 総 合 運 動 公 園	昭和62年 グラウンド (昭和59年) ゲートボール場 (平成4年) はくちょう温泉 (平成6年)	高松市国分寺町新名 2069番地1	・B&G 海洋センター体育館 (726.15㎡) ・バレーボール2面、バドミントン4面、多目的ルーム、ミーティングルーム ・B&G 海洋センタープール (25m×6コース、幼児用) ・B&G 海洋センター艇庫 (カヌー・ディンギー) ・勤労者野外活動施設テニスコート (砂入人工芝4面)、夜間照明 ・勤労者野外活動施設 (多目的ホール、研修室) ・グラウンド (野球場) 両翼91m 中堅104m、夜間照明 ・屋内ゲートボール場 (砂入人工芝2面) ・はくちょう温泉
高松市立東部運動公園	フットサル場 (平成20年) 軟式野球場、 ソフトボール場 (平成22年) その他施設 (平成25年度)	高松市高松町1347 番地1	・第1サッカー場 (人工芝) サッカー (一般1面、ジュニア3面)、ラグビー1面、夜間照明 ・第2サッカー場 (天然芝) サッカー (一般1面、ジュニア2面)、夜間照明 ・フットサル場 (人工芝) ゲートボール4面、フットサル2面、夜間照明 ・軟式野球場 両翼95m 中堅120m、夜間照明 ・ソフトボール場 (2面) 両翼68m 中堅68m、夜間照明 ・弓道場 (近的・遠的6人立) ・アーチェリー場 (30m、50m、60m、70m、90m 8人立)
高松市立りんくう ス ポ ー ツ 公 園	平成30年	高松市香南町岡87番 地1	・多目的グラウンド (人工芝) サッカー1面、少年サッカー2面、フットサル4面、 グラウンドゴルフ等、夜間照明 ・芝生広場

第2期高松市スポーツ推進計画

スポーツを たのしく！ かっきあふれる！ まちづくりに！つなげよう！

令和6年3月

高松市 創造都市推進局
文化・観光・スポーツ部 スポーツ振興課
〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号
TEL (087)839-2626



高松市